

立命館大学学友会
全学学生アンケート2023

回答結果集計報告書 記述編

2023年 11月

立命館大学学友会 学園振興委員会

立命館大学学友会 全学学生アンケート2023

1. アンケート概要

本アンケートは、立命館大学学友会が実施した立命館大学の全学部生対象のアンケートである。2023年度第2回全学協議会代表者会議及び各懇談会に向けて、学生実態を把握するためにアンケートを実施し、学生の意見を取りまとめた。

調査目的	学生生活諸課題についての実態把握及び意見集約
実施期間	2023年6月26日(月)～2023年7月16日(日) 計21日間
実施手法	RISING - FDCを用いたWEBアンケート
調査対象	立命館大学 全学部生(33,094人)
実施	立命館大学学友会 学園振興委員会

2. 設問項目概要

本アンケートの設問は、以下のカテゴリに分けられる。各カテゴリ別の設問項目は以下の通り。

大学での学び	Q1-Q3	授業形態
	Q4-Q6	受講登録
	Q7-Q8	抽選科目
	Q9-Q10	授業に対する意欲関心
	Q11-Q14	学びの質
	Q15	Chat GPT
英語教育	Q16-Q25	英語教育
大学院進学(研究)	Q26-Q36	大学進学(研究)
SSP	Q37-Q40	SSP
留学	Q41-Q42	留学
情報発信	Q43-Q48	情報発信
課外活動	Q49-Q51	課外活動
学生実態	Q52-Q68	皆さんの時間の使い方

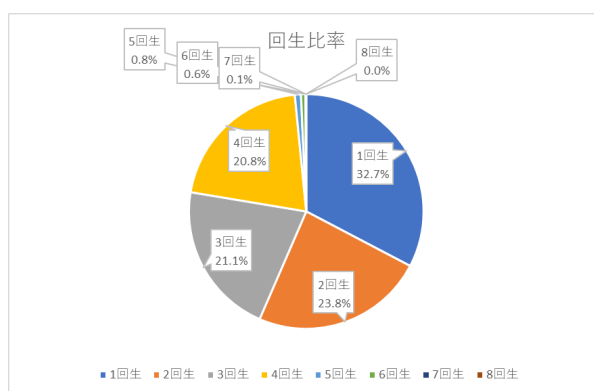
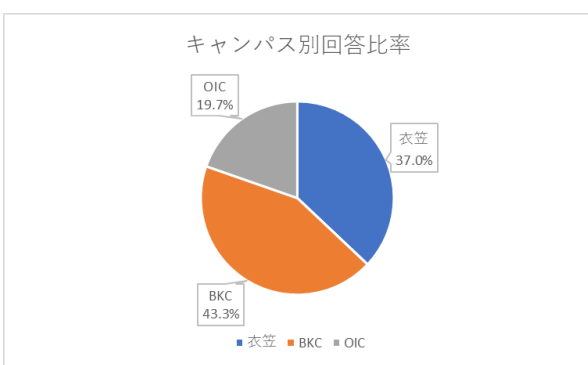
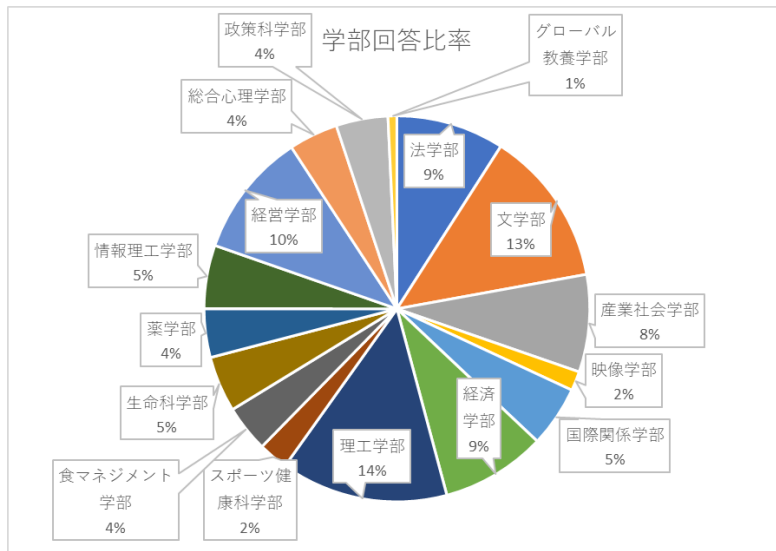
3. 集計結果概要

有効回答数 5795 件（調査対象の17.51%）

P3, 4に回答者属性を示す

回答数

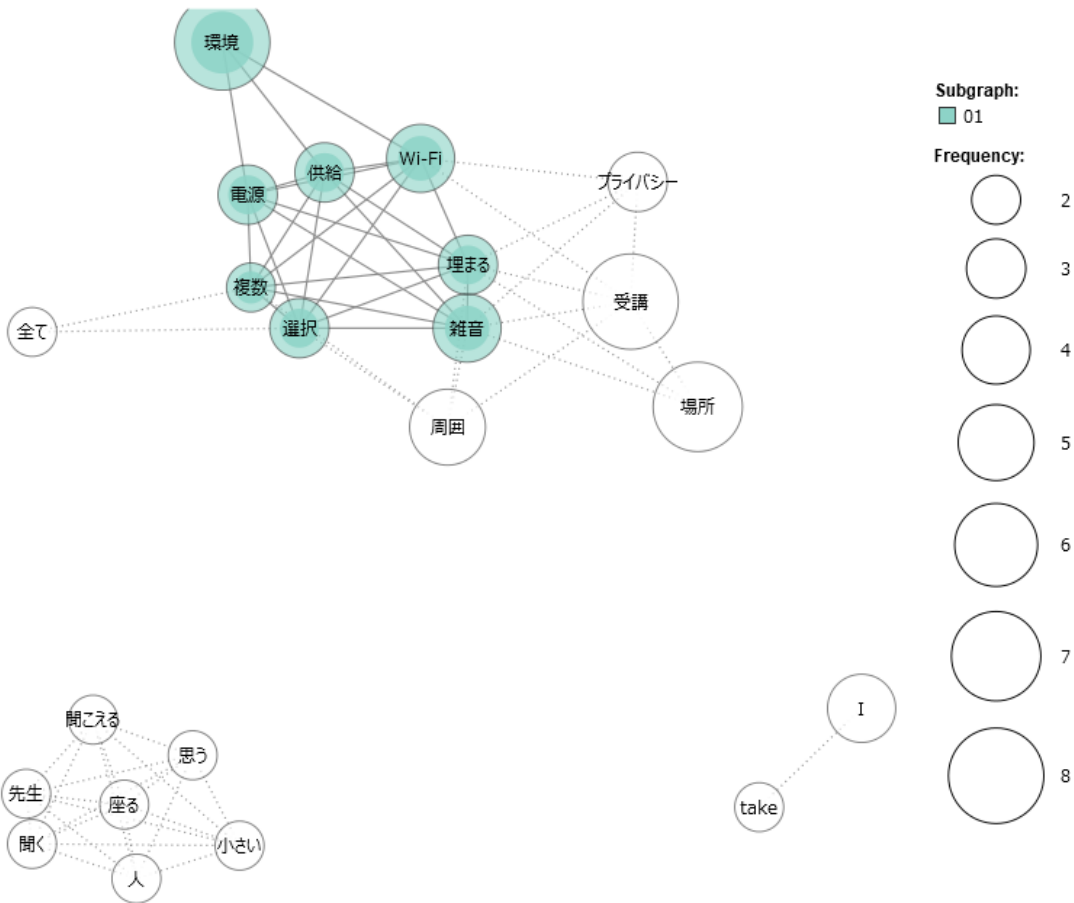
キャンパス	学部	学生数	回答数	学部回答比率	学部内比率
衣笠	法学部	3,139	525	9.05%	16.73%
	産業社会学部	3,316	473	8.16%	14.26%
	国際関係学部	1,454	296	5.10%	20.36%
	文学部	4,354	758	13.08%	17.41%
	映像学部	685	94	1.62%	13.72%
BKC	経済学部	3,242	510	8.80%	15.73%
	スポーツ健康科学部	1,030	144	2.48%	13.98%
	食マネジメント学部	1,261	227	3.91%	18.00%
	理工学部	4,071	813	14.03%	19.97%
	情報理工学部	2,019	308	5.31%	15.26%
	生命科学部	1,277	271	4.68%	21.22%
	薬学部	816	236	4.07%	28.92%
OIC	経営学部	3,312	606	10.46%	18.30%
	政策科学部	1,684	252	4.35%	14.96%
	総合心理学部	1,156	239	4.12%	20.67%
	グローバル教養学部	278	43	0.75%	15.47%
総数		33,094	5795		
全学生比率			17.51%		



4. 設問別集計結果

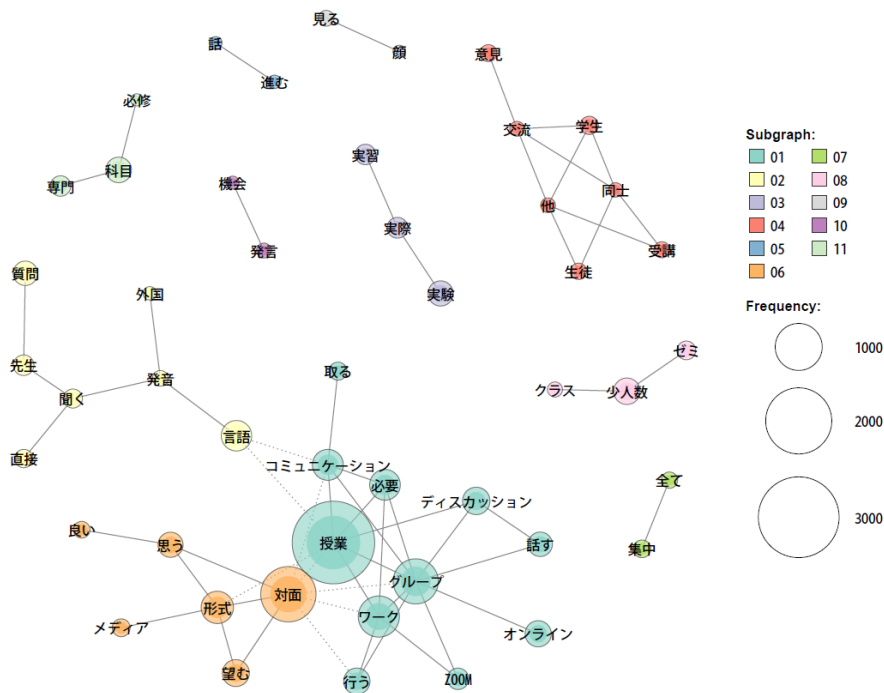
大学での学び | 授業形態

Q1. 今まで大学構内でメディア授業を受講する際、障害となる出来事はありませんか（ありましたか）。



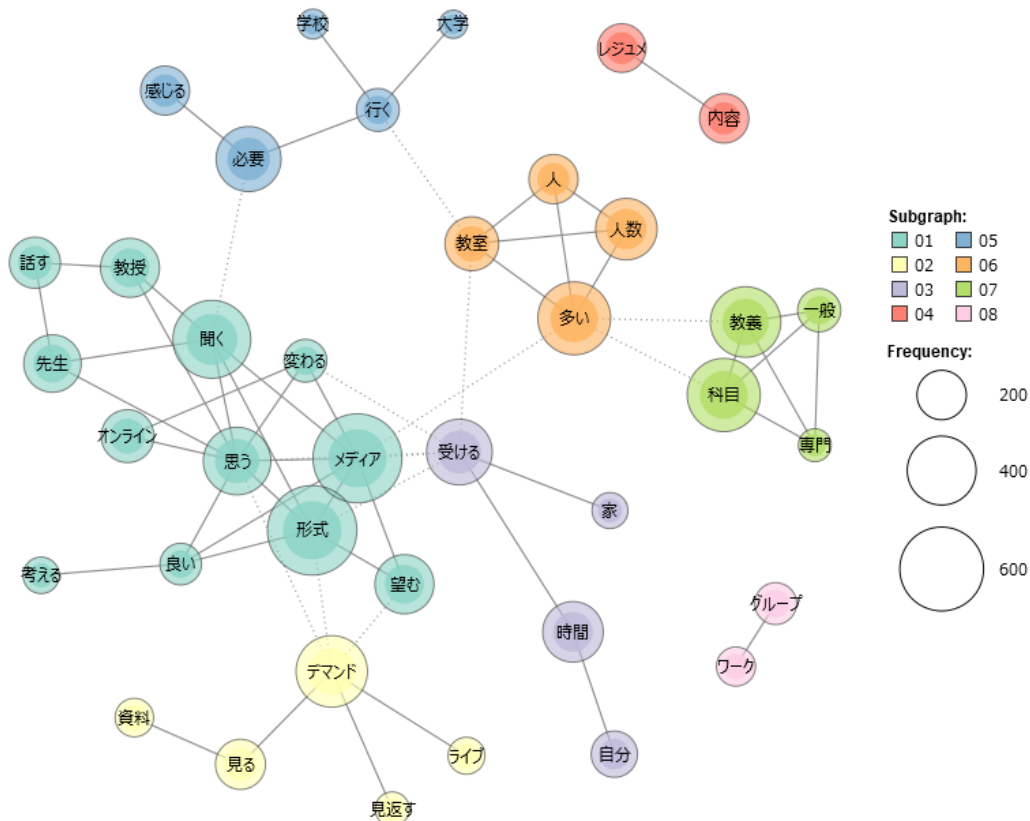
コミュニケーション	
パソコンと、その周辺機器を用意するのに手間がかかる	
図書館のメディアコーナーでの雑談がうるさい	
教授のネット環境	
学校のパソコンにBluetoothが使用できない。	
集中力の低下	
発言が必要なメディア授業を一人で受講しやすい場所が限られていること	10
大学に登校しても孤独を感じる	
zoomのトラブル	5
イヤフォン忘れ	2
教授の問いかけに対して応える生徒が少ない	
オンライン授業を受ける時のスペース	
つながりにくいWiFi環境と、個室がないため、声出しをしにくいところ	
音量が小さい	
パソコンに不慣れな教員の授業	
空調問題	3
メディア授業の際に、教室自体が閉まっている。	
If I take media classes, I most likely take them at home.	
I couldn't find many places where I could conduct zoom classes and participate	

Q2. あなたは、どのような授業に対して対面授業を望みますか。理由も併せて教えてください。



カテゴリ	抽出語	代表的な記述
双方向型の授業	授業・コミュニケーション・グループ・ワークディスカッション・オンライン・ZOOMなど	グループワークなどのコミュニケーションが必要な授業は対面の方が議論がはかどる。
授業に対する集中力	対面・形式・メディアなど	先生と目が合う対面授業の方が緊張感があり話に集中しやすい
対面出席の意義		先生からのプラスαの説明が聞ける授業。 詳しい説明を聞くことができ対面に出席する意味を感じるから。
言語の授業	言語・発音・先生・質問など	言語の授業は積極的に発言して言語能力を高めるべき
質問のしやすさ		先生に直接、授業でわからなかったところを聞きに行ける
専門科目や必修科目	科目・専門・必修	専門科目や必修科目は重要であるから、対面で実施してほしい 指導実習などの実習系の授業と学部の必修科目。 実習系は実際にやってみないと学びが得られないし、必修科目は専門的で質問したいことが多い上に学部の先生と関われる大事な機会だから。
発言のしやすさ	発言・機会	オンラインでは発言のタイミングや表情を伺いにくい グループワークが必要となる授業。 理由としては、オンラインだと相手の顔が見えなかったり、タイミングがつかめず発言がしにくい等、ほとんど話すことが出来ないまま終わることなどもある。また、話し合っても対面の時と比べるとやはり話し合いの中身の質が劣ると感じる。
話し合いや授業の円滑な進行	話・進む	Zoomでは沈黙ができて話や授業が進まない ゼミなど少人数の授業や先生の話がメインの授業は対面形式の方が良い。 話し合いが求められる場合、オンラインだと、相槌や空気が伝わりにくく、話が深まりにくかった経験がある。また、先生の話がメインの場合は、先生と目が合う対面の方が緊張感があり話に集中しやすいから。
相手の顔を見ながらの授業	顔・見る	対面で顔を見ている方が話しやすい、聞きやすいなどのメリットがある 対面だとクラスメイトの反応を見たり質疑応答をしやすいため、グループワークや発表を行う授業に対して対面形式を望む。また、対面であると、先生から有益な雑談を多く聞くことができるため、なるべく多くの授業が対面であってほしい。
実技系の授業	実習・実験・実際	実験などの機器を使う科目。 実機を使った授業は実際に使ってみないと分からないことが多い。 特に、実験などは対面形式を望む。 資格過程などの実習系の授業は、友人と情報共有もしやすいので対面形式が良い。
授業出席者の人数	クラス・少人数・ゼミ	ゼミや教職などの少人数の授業は、対面の方が相手とコミュニケーションがとりやすい
学生同士の交流	学生・交流・意見・受講など	受講生同士で交流を深めることに繋がる
授業への取り組み	全て・集中	基本的に全ての授業で対面形式を望みたい。 対面形式の方が適度な緊張感を持って集中できるうえ、毎回授業に出て講義を真剣に聞いている真面目な学生が適切な評価をしてもらえるように思うから。

Q3. あなたは、どのような授業に対してメディア（ライブ配信型・オンデマンド型）形式を望みますか。理由も併せて教えてください。

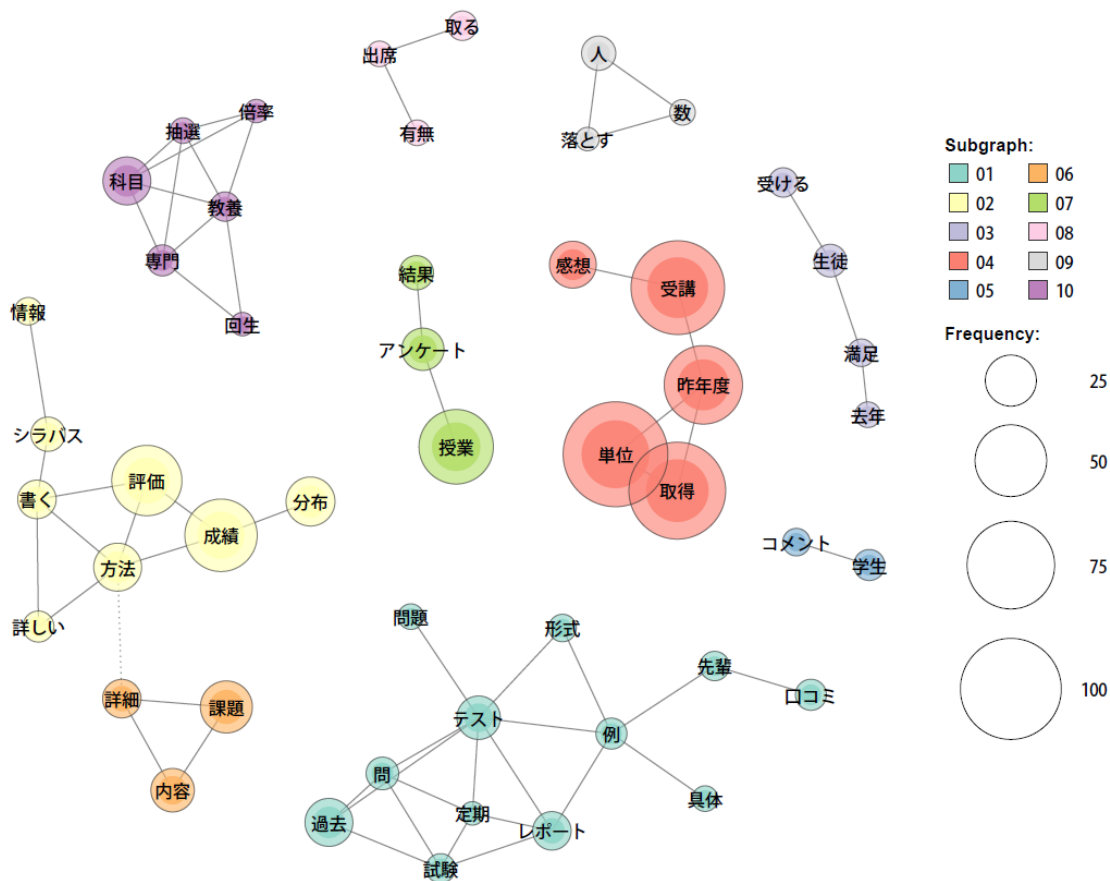


カテゴリ	抽出語	代表的な記述
授業の質	形式・メディア・オンライン・教授・先生・望む・思うなど	大講義では対面で講義を受けていても意見を述べる必要はなく、オンラインで講義をうける環境と変わらないから。
復習ツール		大講義室で行うような授業や講義型の授業はライブ配信型の方が、スライドも見やすくまた見返すこともできる為メディア形式を望みます。
資料の見やすさ	資料・見る・見返すなど	大人数の講義型の授業。特に板書をするものや動画を使って説明をするものは教室で見るよりも自分のパソコンの画面で見るほうが見やすいから。大教室で大勢に向けて授業をされるよりも、メディアを通して目の前で行われる方が理解しやすい。
時間の有効活用 通学時間について	家・受け取る・時間・自分	オンデマンド型だと自分の好きな時間に受講することができて便利 通学にかかる時間を他に充てることができる
他者との交流がない授業	グループ・ワーク	グループ活動や自分の意見を重視するレポートの作成がない授業。 対面形式である場合とほとんど変わらないので、都合の良いタイミングで受けられる方がよいと思う。
資料の見やすさ	教養・専門・一般・科目	専門科目や教養科目はオンラインの方が資料が見やすい
周囲の環境		座学の教養科目は、ライブ配信やオンデマンド型でいいと思う。 教養科目は人が多く雑談があると不快感があるため。
授業内容	レジュメ・内容	先生の話とレジュメのみを使って行う授業
周囲の環境	教室・人数・人・多い	大講義では席の確保が難しく、私語で授業が聞こえにくい
		受講生が多い場合、授業に対するやる気もまちまちであり、オンラインを併用することで教室が授業に集中しやすい空間になるのではないかと思う。
授業方式と学生の時間	大学・行く・必要・感じる・学校	先生が話すだけの授業では大学に行く手間が省ける

Q5. 受講登録の際に、シラバス以外で参考にしたものがあれば教えてください。

定期試験の有無、教職支援センター	
楽天みんなのキャンパス	26
新入生向けの1・2年生しか受講できない講義を示すページ	2
卒業要件に必要な単位がどれかを知る	2
教職課程で必須の科目	
先生の専攻と研究方向	2
単位取得率	4
知り合い	
早期履修登録制度	
教授の評価	
定期テスト内容	
抽選科目の定員数と受講希望者数の情報	
先輩からのアドバイス	
先生との面談	
教職要覧、インターネット	
自分と同じ内部進学をしている先輩	
Academic Advisorからのアドバイス	
manaba+Rで公表されている成績分布	
公認心理師対応科目	
単位（専門科目かどうか）	
自分の履修状況	
アカデミックアドバイザー	
SNSなどのインターネット上の情報。	26
学校におすすめされた授業を取った	
教授からのアドバイス	
履修モデル	2
親との相談	
授業の時間割一覧表	4
自分の興味のある授業	
Personal schedule preference	
Time and location of class.	
class period and the professor	2
subject itself	

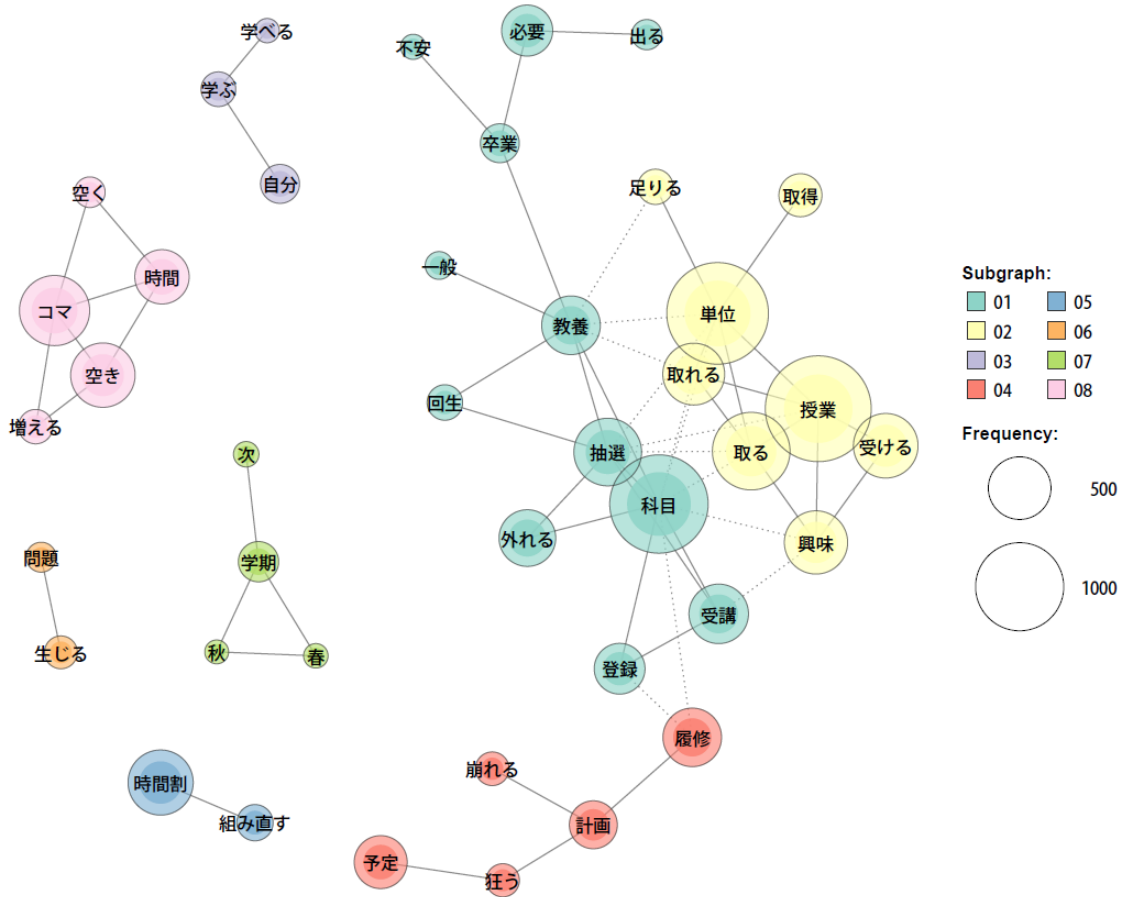
Q6. 現状のシラバスの内容に加えて、ほかになければ受講登録の参考になりますか。



単位取得率	
受講した学生のコメント	
成績評価の方法	
レポートの文字数などの課題の詳細な内容	
授業アンケート結果	
テストの過去問	
Average score of the lecture	
I pre-attend the class that I am interested in	
Opinion of senior students on the course	
I think it would be nice to have a way to access reviews of courses from other students. In the USA, colleges often use a website called "rate my professor", where students can share their thoughts on the course and/or the Professors teaching style.	
Overview or Overall Evaluation of the course from students's sides	
Grade rate	
Looking up basic information about the content being taught in the class	

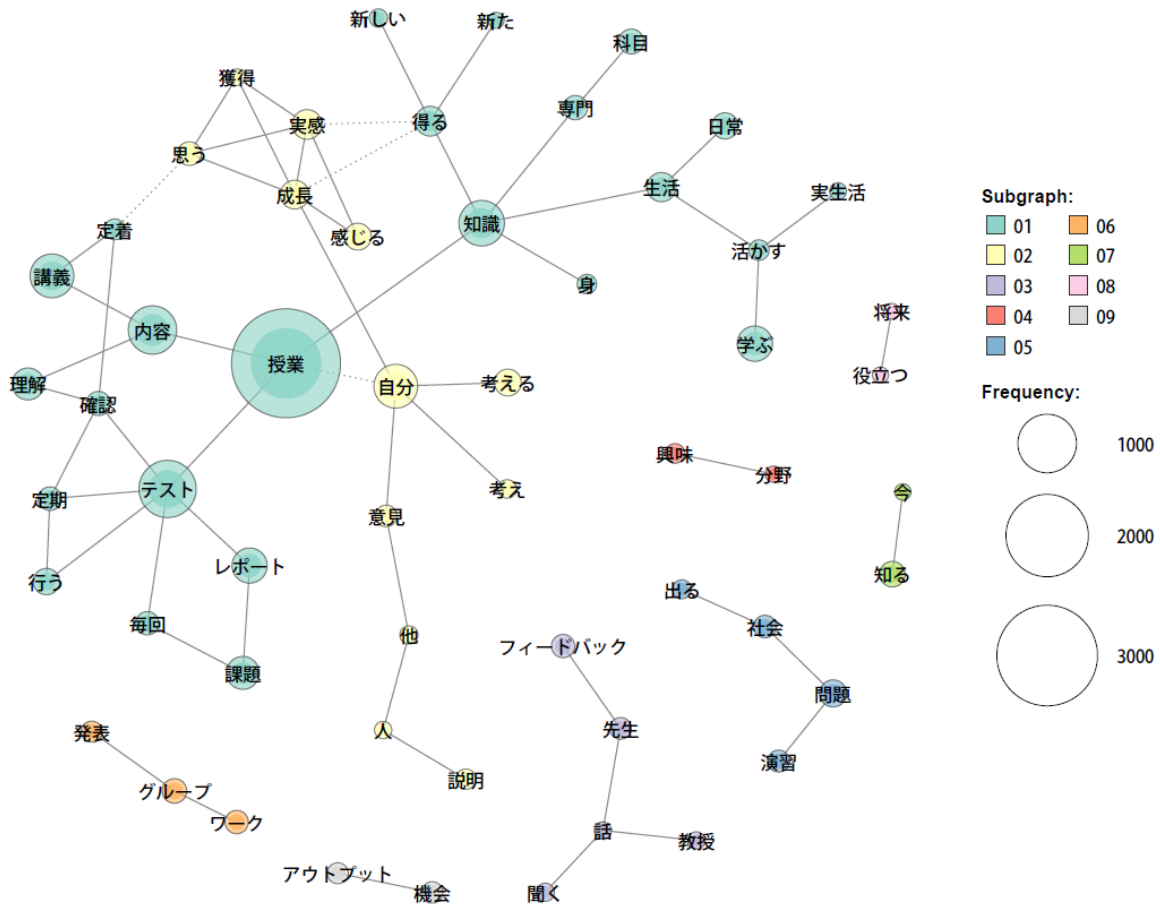
大学での学び | 抽選科目

Q8. 抽選科目が外れたことによって生じた問題を教えてください。



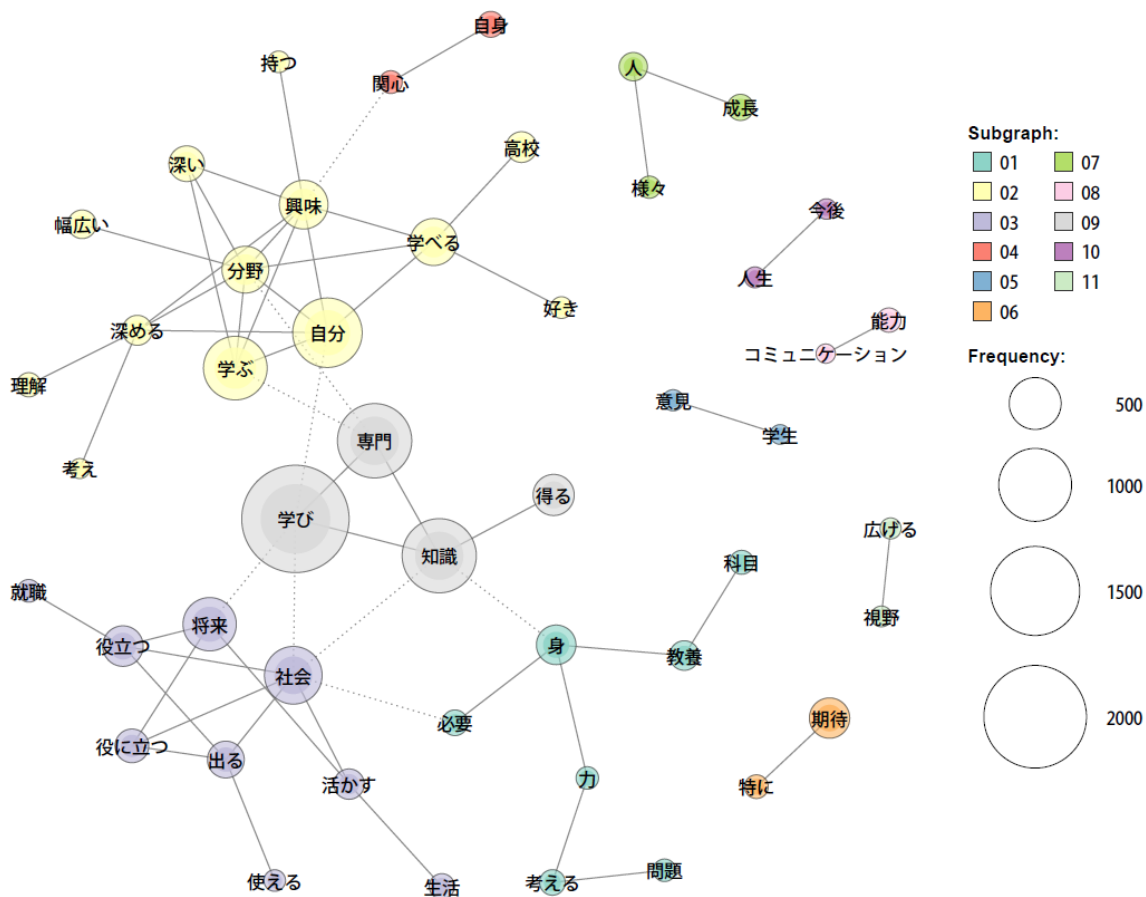
- 自分が学びたい授業を受講することができなかった
- 卒業単位数のために興味のない授業を受講することになった
- 教養科目の単位数が足りず、上回生でも抽選科目を申請しなければならず、研究の時間が減った
- 春学期で履修できなかった科目は次の回生まで待たなくてはいけないため、履修の計画が狂う
- 空きコマが増えてしまい、効率よく授業を取ることができない

Q10. 一般教養科目・基礎専門科目・専門科目等の講義全般を通して、あなたが思う成長実感（講義内容の定着）を獲得できるような授業とはどんなものですか。



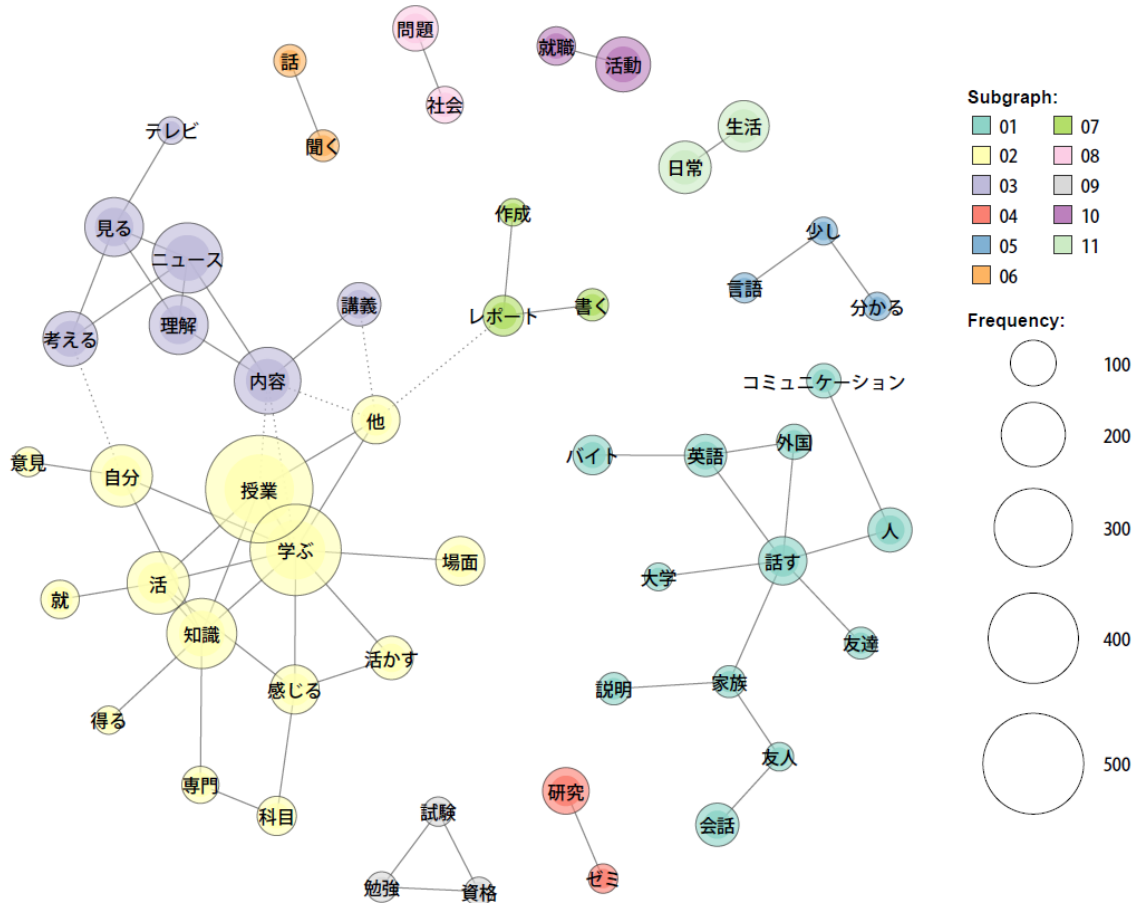
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
自分の理解度の可視化	授業・内容・定着・テスト・知識など	テストを行うことで理解度を知ることができる授業
専門知識の学習		自分の専攻の専門知識の獲得や専門技術の習得できる授業
自分の成果を発表でき、FBをもらえる機会	発表・グループ・ワーク	グループワークなどを通して、何かを成し遂げたり、講義のコメントや質問に対するレスポンスが積極的に教員からなされる授業。
講義で学んだことを表現できる場の用意	アウトプット・機会	知識をインプットするだけでなくアウトプットする機会がこまめにあれば良いと思う
提出物などからの習熟度の確認	フィードバック・先生・話・教授・聞く	教授からのフィードバックなどがあれば習熟度を確認できると思う 対話形式ができる授業は自分の意見をアウトプットできて、フィードバックもいただけるので成長を実感できる。
学んだ物事と社会課題との結び付け	問題・演習・社会・出る	実際の社会問題に対して自分なりの答えを出すことができるような力をつける授業
授業内での演習時間の確保		学んだ知識を活かす課題や演習がある授業
新たな学びの分野	今・知る	今まで興味関心のなかったトピックについて触れる機会を得られること
学生の興味のある分野の発掘と個別最適な学び	興味・分野	自身の興味のある学問をそれぞれの生徒に合った方法で学ばせて貰える授業
将来のキャリア形成	将来・役立つ	将来のキャリア形成に重要な専門知識の基礎を身につけられる 受講生が質問しやすい雰囲気を作り、 受講生自らの言葉でその事象を説明できるように促す授業 自分の意見を発言でき、友達の意見を沢山聞ける授業 学んだ内容を他の授業に活かすことができるもの
学生が能動的に参加できる授業の雰囲気	成長・実感・獲得・自分・意見・考えるなど	
1つの授業にとどまらない知識の活用		

Q11. あなたは、大学でどんな学びを期待しています（期待していました）か。



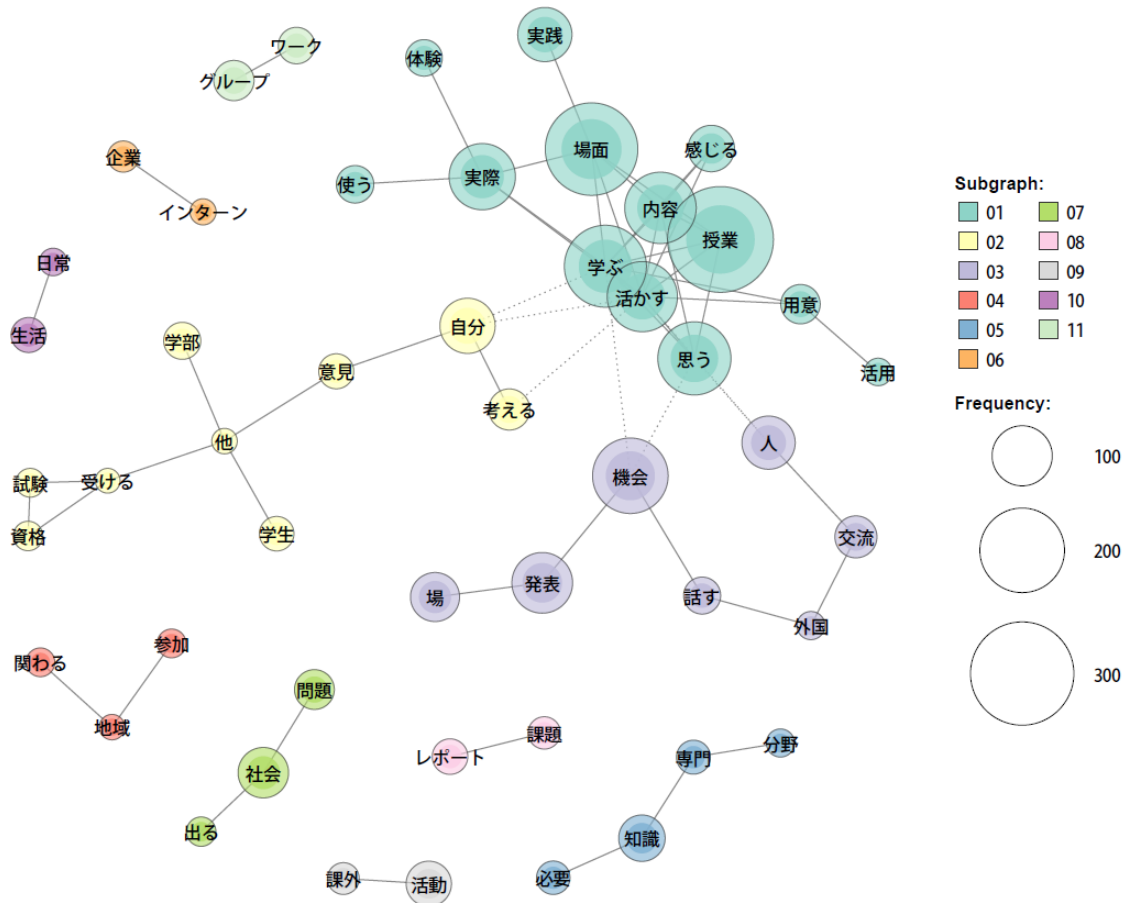
- 専門的な知識を得られる学び
- 自分の興味関心を伸ばすことのできる学び
- 就活や今後の人生で役立つ情報やスキルを学びたい
- 高校までとは違う一歩先に進んだ論理力と思考力が育まれ、他者の意見を共有できるような学び
- 人間関係の構築とコミュニケーション能力の向上

Q13. どんな場面で、学んだことが活かせたと感じます（感じました）か。



カテゴリ	抽出語	代表的な記述
講義と研究の結び付け	研究・ゼミ	ゼミで卒論のテーマについて研究する際にヒントがもらえたときに感じた。 専門科目の授業で学んだことが、自分の今後の研究テーマに繋がった。 ゼミでの論文読みやどのような研究ができるかを考えるときに、 講義で学んだ基礎的な部分は新しい発想の助けになっていると感じる。
講義と資格試験の結び付け	勉強・資格・試験	資格試験で、授業で得た知識を反映できた
海外の方とのコミュニケーション	言語・少し・分かる	海外の方と英語や第二外国語で取っていた言語で話すことができたとき。 の社会問題を知識者の意見をと自分の考えを比べながら、 自分の意見も言語化できたとき。 学び得たことを日常生活に還元できた。
日常生活への還元	日常・生活	日常の物事や社会的事象を俯瞰的に捉えられるようになったとき。 それに対して、自身の考えを持つことができるようになったとき。
就活でのアピール	就職・活動	就職活動でのグループでディスカッションなどで、 専門的な話をするので、アピールすることができた。
社会問題の理解	社会・問題	授業で学んだ内容を他の授業の内容や現実の問題と関連付けて 考えられるようになったとき
授業理解の促進	話・聞く	ある授業で学んだ情報によって、 他の授業で聞く話の解像度が上がる、わかりやすくなる場面
課題との結び付け	レポート・作成・書く	レポートを書くときに授業で習った知識を活用できたとき
ニュースの理解促進	ニュース・理解・講義・内容など	テレビや新聞で報道される内容について、 授業で学んだ見方を用いて自分の意見を持つことができたとき。
他者との会話中での気づき	話す・会話・人・説明など	自分より大人と話す際に、自分の意見を述べられたときに実感する。
自分の意見を明確に持つ	授業・学ぶ・知識・自分・活かすなど	授業で学んだことを元に理論立てて自分の意見を言えたとき。
Knowledge of International Relations enables the analysis of global policies and provides insights into the causes and dynamics of conflicts.		
I felt when i think those contents are necessary and helpful in my future career		
I get the chance to use the foundation knowledge in general classes in advanced courses and special lectures, where we can work on specific cases and get more of it.		
When listening to the news about the international situation.		
I think in presentation, writing essay, or in quizzes.		

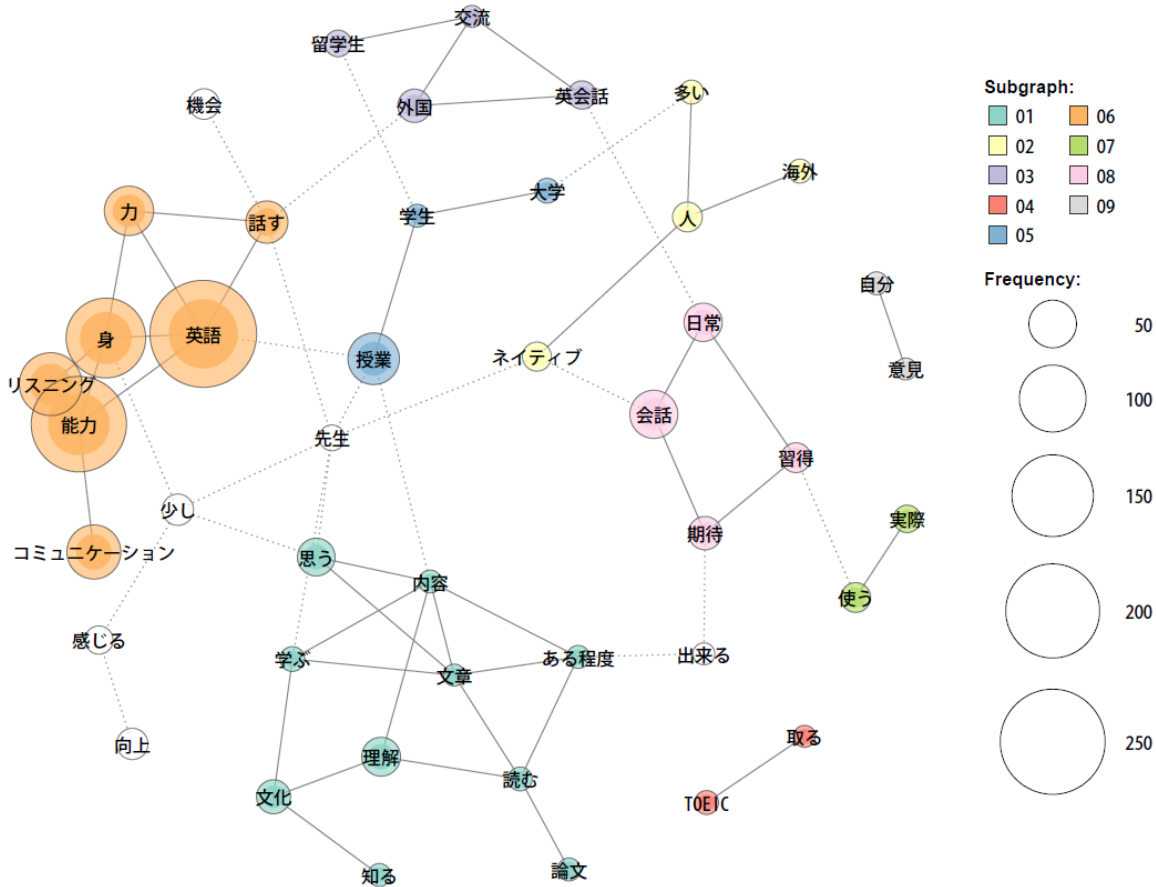
Q14. どんな場面が用意されれば、授業で学んだことが活かせると感じますか。あればお書きください。



カテゴリ	抽出語	代表的な記述
学びを活かせる場所の提供	必要・知識・専門・分野	自分で積極的に学んだ専門分野の知識を活かせる環境に身を置くこと。 双方向型の授業で自分の知識をアウトプット、ブラッシュアップできること。 また、教員独自の視点や経験に基づく授業を展開してもらうこと。
正課にとられない活用の場所	課外・活動	授業内で完結するのではなく課外での交流がある。 オープンゼミナールなどの、学んだことを発表する場、 学部や選考に特化したインターンシップ・ボランティアなどの課外活動プログラムなど。
実際の学びのアウトプット	課題・レポート	実際の生活で試してみ、レポートを書くという課題が出されること。 もっとレポートやコミュニケーションペーパーのフィードバックが欲しい。 特に最終レポートはほとんど出して終わりの一方通行なので、 自分がどの程度のレベルなのかかわからないし、成長も感じられない。
社会問題との結び付け	社会・問題・出る	産学連携の授業など社会との繋がりの中で学んだことを応用して課題解決をする場面。 授業に直接関連する社会問題が示されてそれについて解決策を考えさせられる機会。
地域交流を通じた学びの場の提供	地域・参加・関わる	地域活性化事業などの、学校でなく地域主催のものに参加する。 学んだ内容をアウトプットする場合は大学側が用意するモノではない。ただ、地域とのつながりを 学生が持っていないのも事実。サービスラーニングセンターや地域連携課が授業の外で積極的に 地域の人と学生が関わる機会を作ることが、アウトプットの場を学生自身が作るきっかけ醸成に つながると思う。
日常生活との関わりの説明	日常・生活	授業内で、その物事と日常生活とのかかわりを紹介する場面。
企業も交えた実践の場	企業・インターン	企業等と協力して、授業で学んだ内容を使って何か作る機会。
自身の成果の発表の場	グループ・ワーク	授業で学んだことを活用しながら、自分で（またはグループで）新たな考え方を探したり、 プロジェクトを考え、発表するような場面。
多様な方々との交流	機会・発表・外国・交流など	学部外、学外、国外の方々と交流する機会。 授業で学んだことを活用しながら、自分で（またはグループで）新たな考え方を探したり、 プロジェクトを考え、発表するような場面があれば、 授業で学んだ内容が活かせると感じると思います。
資格の取得につながる力 同じ授業を受けた受講生同士の交流	資格・学生・意見・考えるなど	実際に学んで、資格試験を受けてみて、そこで資格をもらうことができるとき。 生徒同士で意見を交換できる場面。
学びと活動の結びつき	授業・場面・実践・活用・用意など	授業で学んだ内容を実際に活用して活動に取り組む場面。

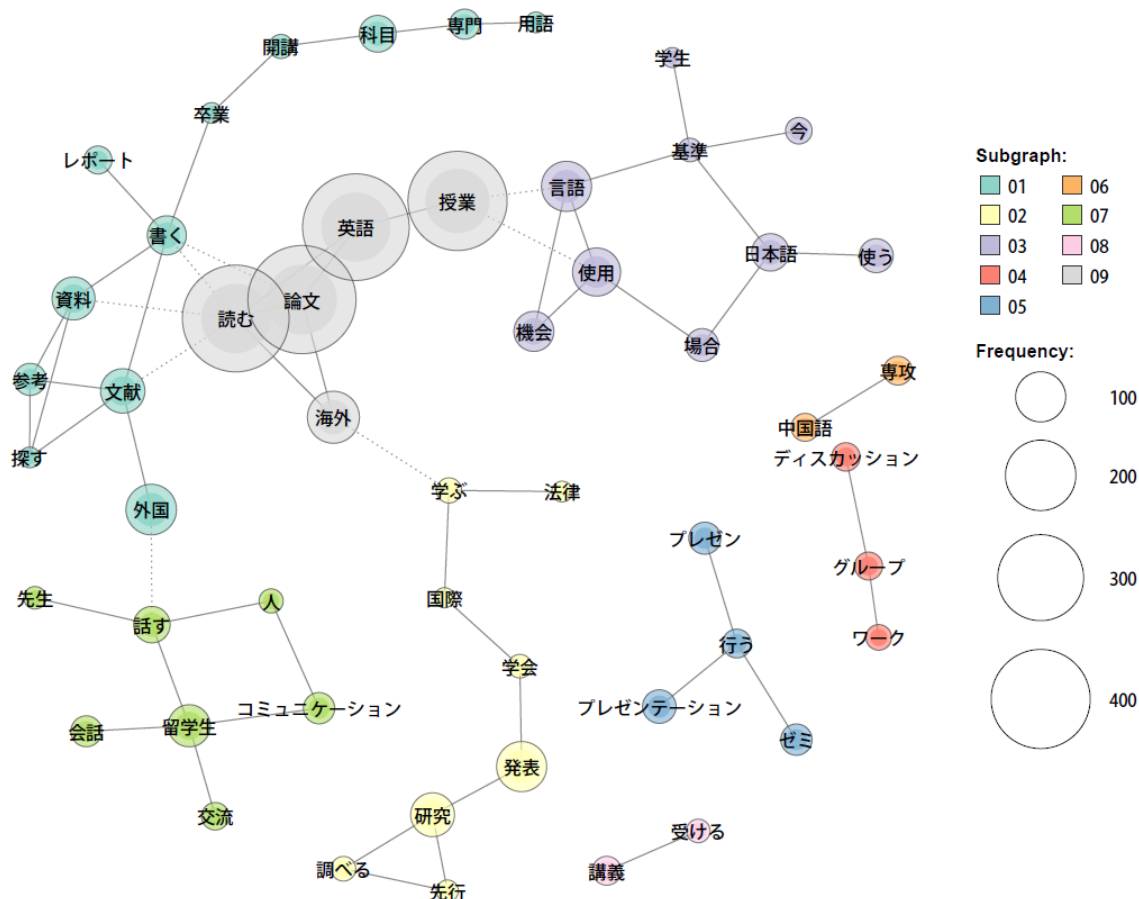
英語教育 | 英語教育について

Q18.上記の能力以外で大学での英語授業を通して習得を期待している能力があれば教えてください。またそれが身に着いたかどうかも併せて教えてください。
 (英語基準学生は「該当しない」と回答してください)



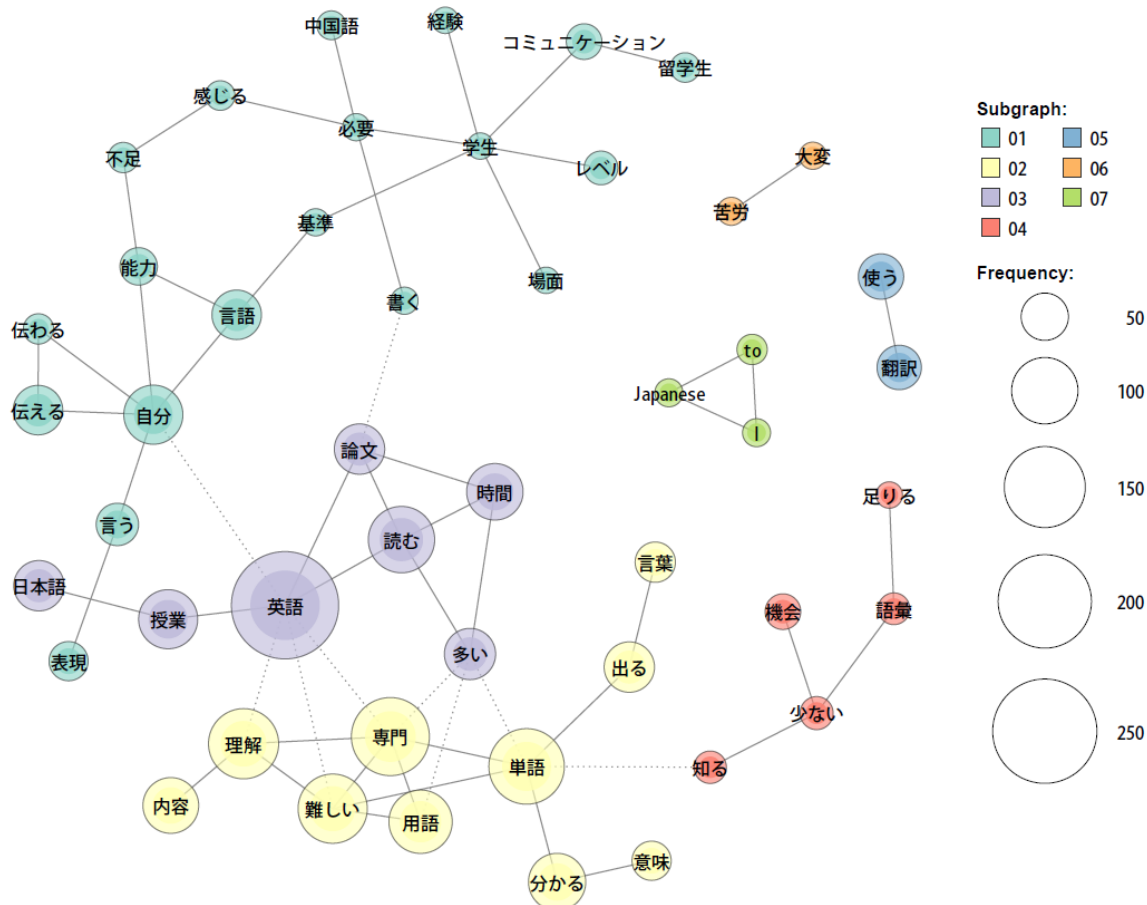
- 英語圏の文化や考え方の理解
- 留学生などの日本語が通じない方とのコミュニケーション能力を身につける
- 実際に英語を使う方に積極的に話しかけることができるようになった
- 自分の考えを英語で発信する能力
- 英語論文の内容を理解したり、議論できる力

Q20. あなたの学部・学科・専攻では、専門科目や基礎専門科目の授業及び研究やゼミにおいて、どんな場面で基準語（日本語基準学生は日本語、英語基準学生は英語）「以外」の言語を使用する機会がありますか。



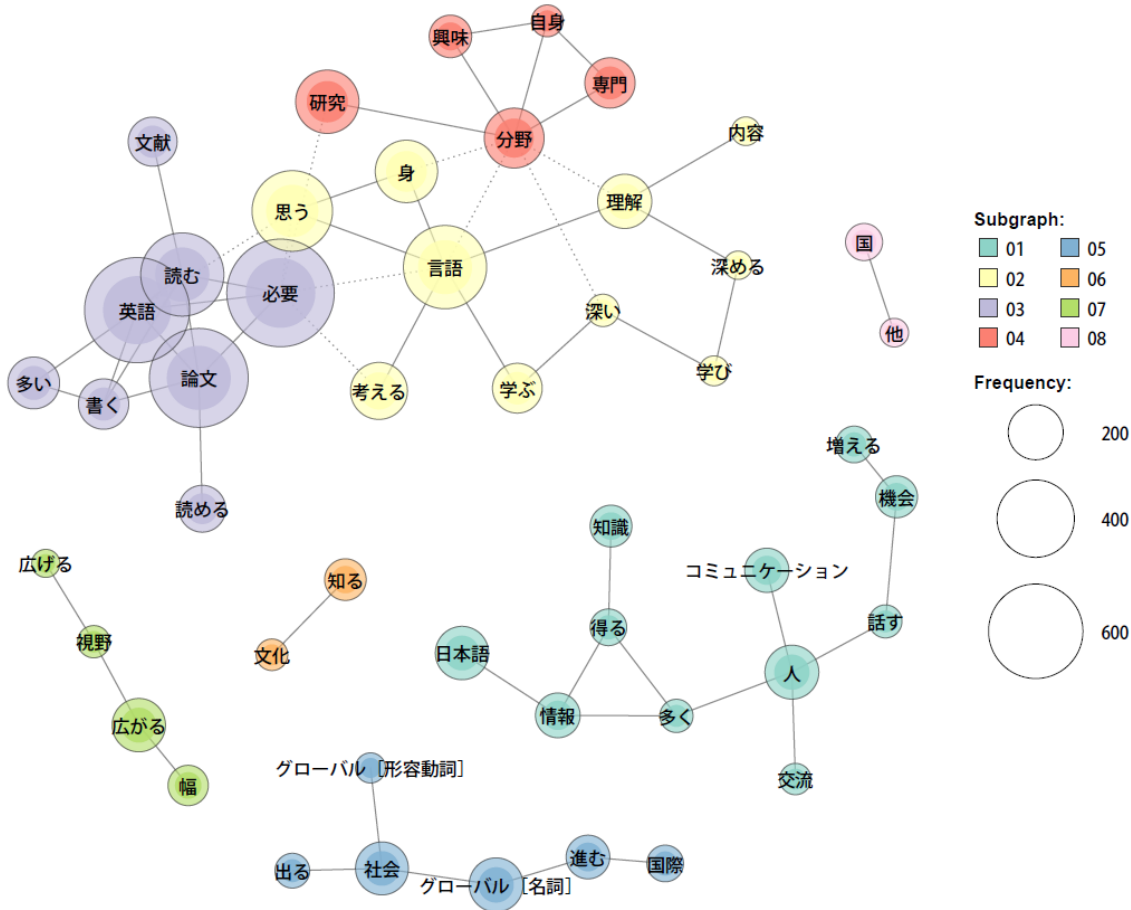
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
研究を進めるうえでの必要性	グループ・ディスカッション・ワーク	英語で自分の研究テーマを発表する。 英語の論文を読む、英語の文献を探す。 授業内のグループディスカッションや発表の英語による質疑応答。
研究を進めるうえでの必要性	中国語・専攻	古い史料を読み解く際に中国語が必要である 日本語学を専攻 英語：英語で書かれた論文を読む場面。 中国語：漢語について学ぶ場面。日本語教育は外国語が非常に深く関係していると思う。
英語での開講科目やゼミでの使用	プレゼン・行う・ゼミなど	英語で開講される専門科目やゼミでのプレゼンテーション
授業資料が異言語	講義・受ける	授業を担当する教授が海外の方であった場合や講義資料に英語が使われていたとき
学会などでの研究発表や先行研究の調査	研究・発表・学会・国際など	国際学会での発表や原著論文などを読むとき
異言語を話す学生や先生との交流	留学生・交流・話すなど	留学生とコミュニケーションを取る場面 留学生とのコミュニケーションや現地での実習、論文検索など。
言語学習の授業	日本語・基準・言語・機会など	第二言語やプログラミングの授業で日本語以外の言語を使用する機会がある。 語学の授業において、学習したコミュニケーションや語彙の確認や学生同士の授業内のコミュニケーションで使用する。
研究や授業でのデータ活用	海外・読む・論文など	海外の論文を読んだり、資料やデータをみるとき。
講義での提出課題	文献・レポート・卒業など	実習における会話や、様々なレポートや資料を作成する場面。
When Japanese terms are brought up or discussed in class. 'Cross-cultural encounters' class allows communication with Japanese students in Japanese.		
I am able to use Japanese in Japanese classes.		
Since GS has a lot of international students, we have the opportunity to learn each other's languages some team works and discussion time.		
Very less, mostly because of BBP language exchange		
Circles but otherwise I could seldomly use Japanese		
Japanese classes; and when I need to read Japanese literature when i'm talking to my friends		

Q21. 上記のような場面で、基準語（日本語基準学生は日本語、英語基準学生は英語）「以外」の言語を使用するにあたり困ったことはありますか。具体的な内容も併せて教えてください。



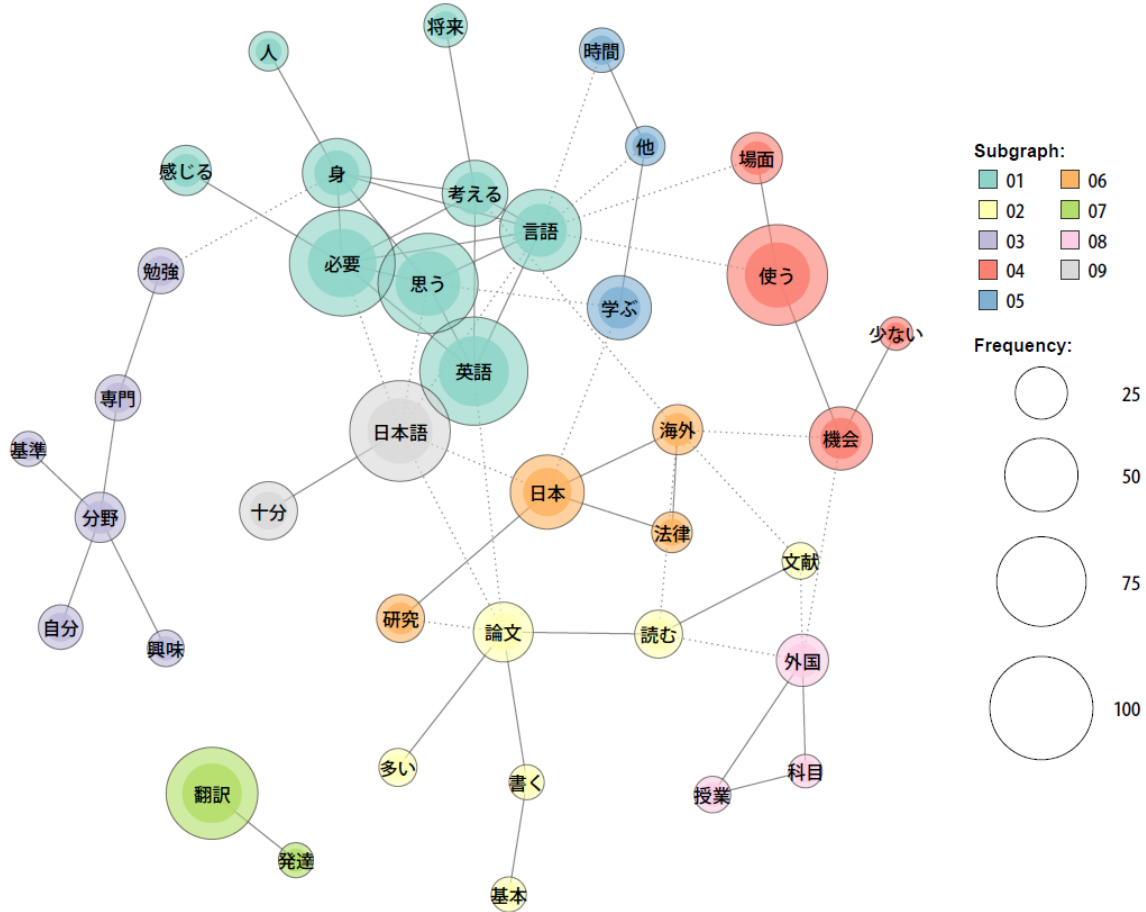
- 異言語で会話する際の表現方法が分からない（自分の考えをうまく表現できない）
- 英語論文を読むのに時間がかかる
- 専門用語が異言語の時に授業や論文内容の理解が難しい
- 翻訳機があるためあまり困らない
- 語彙を学ぶ機会が少ない

Q23. 「身につける必要がある」と回答した理由を教えてください。



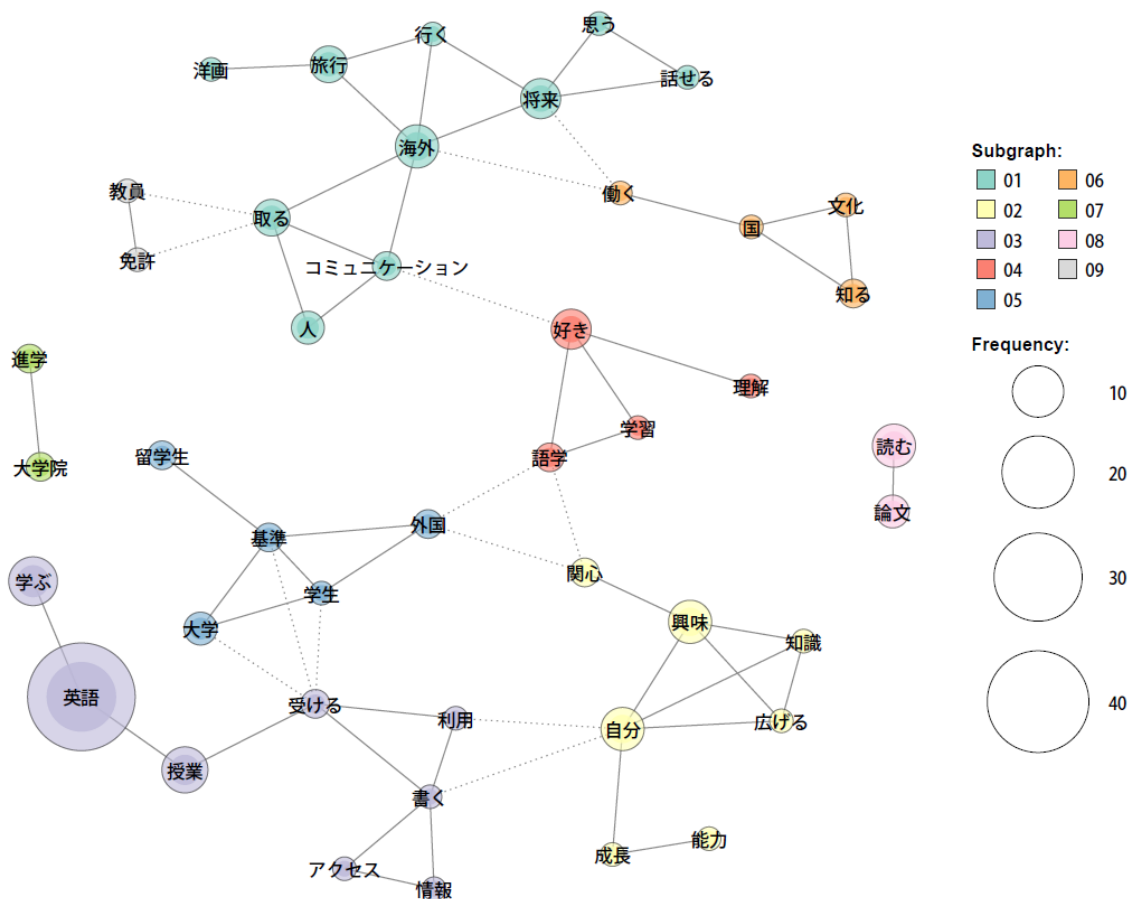
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
グローバル化の進行	グローバル・社会・進むなど	グローバルが求められている時代でのコミュニケーション能力は必須だと考えるため 論文などを読む時に英語力は必要で、 社会に出た後も英語を活用した職業につきたいと思っているから。
様々な分野の視野の拡大	視野・幅・広がるなど	視野やコミュニティの拡大、また就職や情報、食などの選択の幅の拡大に 役に立つと考えられるから。 あらゆる言語が読み書きできるようになれば、 論文や書籍、文化の理解できる幅が広がるためです。
異文化理解	文化・理解	それぞれの国によって文化や社会が違うので、その言語で捉えられている、 ありのままを理解するべきだと思うから。 その標準語以外を使用する人や国の文化や性質を学べる。 また、言語を通して自身の専門分野や興味のある分野を多角的な視点を持って学べるから。
研究の理解	国・他	自分の学びたいものが、日本以外でその研究が盛んな場合、 その国の特徴や価値観などの理解を深めることで研究の理解が深まるから
研究に関する情報収集	情報・日本語・人・機会など	日本語以外を学ぶことで、研究に関する多くの情報を得ることができる。
異言語話者との交流の促進		留学生と交流する機会が増え、より仲良くなれるし、様々な価値観や異文化と交流できた。
専門分野への理解促進	研究・分野・専門など	自分の専門分野の研究報告や論文を読む必要があり、 専門分野に対して理解力を深める事ができるため
将来のキャリアへの貢献	言語・理解・学びなど	言語を身につけておくことは大学内に限らず将来においても役立つことであると感じるから。
論文作成での必要スキル	英語・論文・読む・書くなど	外国語の論文を読んだり、異言語で論文を書く必要があるから。

Q24. 「身につける必要はない」と回答した理由について教えてください。



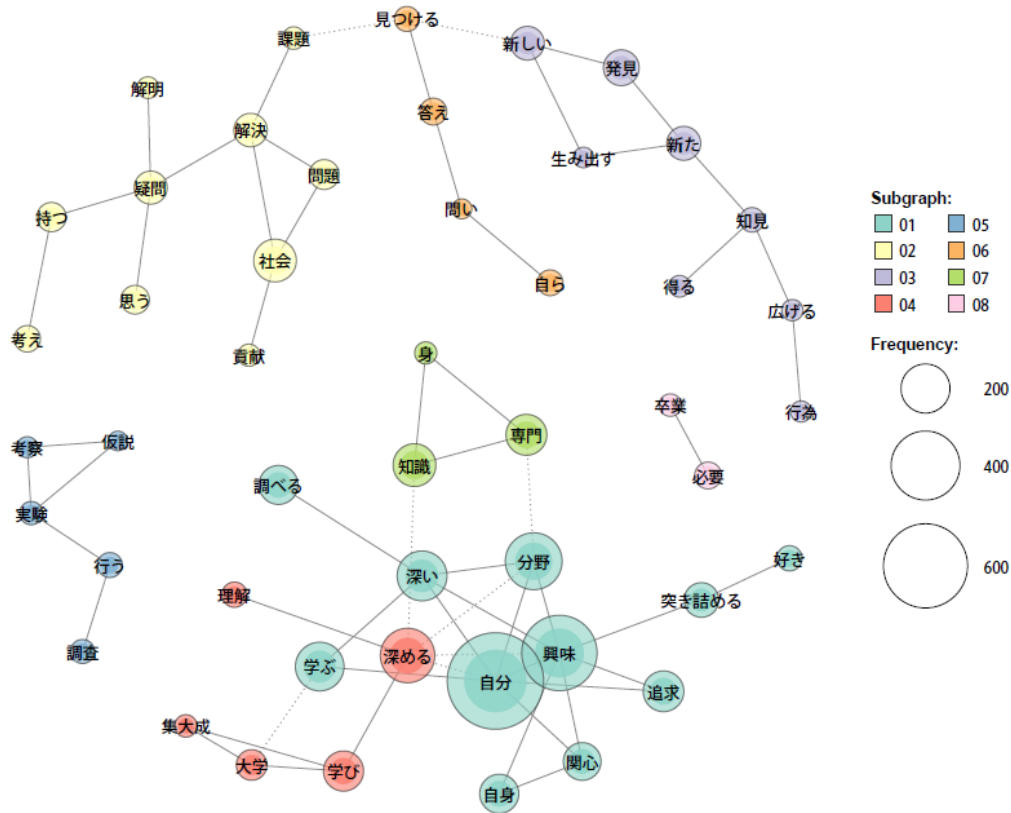
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
機会の無さ	使う・場面・機会・少ない	基準語以外の言語を使う機会が全くないから 今後の生活において実践の機会が思い当たらないため。 他言語習得の時間の日本語の学習に充てたいため。 日本語と英語以外を使う場面は少なく、 もっと優先度の高いことに時間を割く方が良いと考えるため
学習の優先度	時間・他・学ぶ	言語力以上に学ぶべきことが多い。 英語を学ぶ時間をその知識を学ぶ時間に費やす必要があると思うから
学生の履修状況において学ぶ必要性	外国・科目・授業	履修している科目の中に、国際的な内容は少ないため
研究分野による他言語の必要性	論文・読む・文献・基本・多い・書く	日本でも多くの研究がなされており、多言語の論文を読まなくても情報が集まる
法律分野の勉強は日本語がメインとなる	日本・海外・法律・勉強	日本法についての研究が必要であり、 日本人が日本語で書いた論文や判例などを読み解くことが大体となるため
翻訳ツールの使用	翻訳・発達	DEEPLなどの翻訳サイトが発達している中で、英語を学ぶ必要はないと感じる。 翻訳サイトをうまく使いこなす方が大事だと感じる。 翻訳の技術が年々向上しているため、AI翻訳に任せる方が合理的だと感じるため。
興味のある分野と語学学習との優先順位	専門・分野・興味など	基準語以外の言語を習得するより自分の専門分野について勉強した方が効率的だと思ったから。
十分な必要性を感じられない	日本語・十分	基準語以外を身に付ければより深く研究もできるが、なくても十分な研究はできるから
将来のキャリアまで見据えた選択	言語・思う・必要・将来・身など	将来の進路を考えて、それを活かす機会はないと思ったから

Q25. あなたが大学で英語を学ぶ目的（意義）を教えてください。
 (その他自由記述)



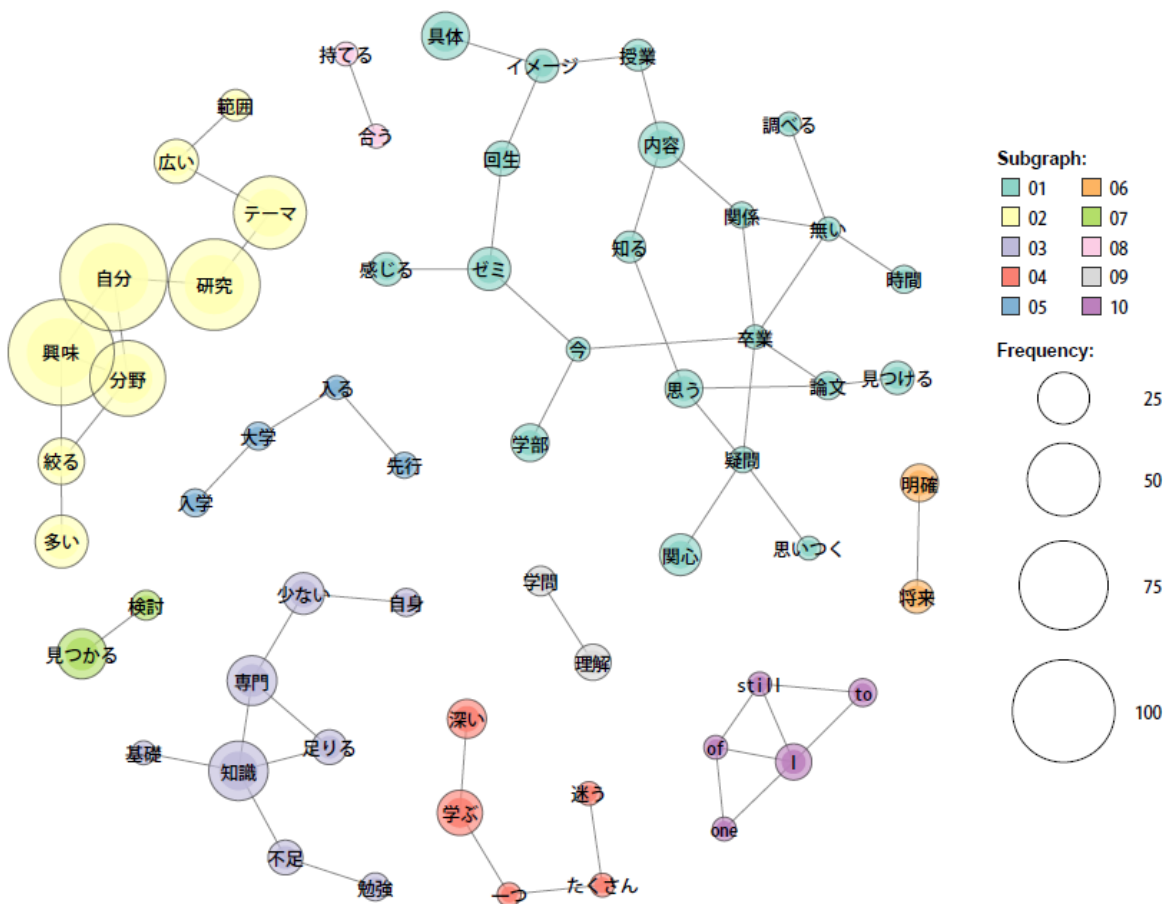
言語学習が好き
 英語授業を受ける必要があるため
 海外旅行に行った際に現地の人とコミュニケーションが取れる
 英語を学ぶことで、自分の興味や知識の幅をより広げるため。
 いろいろな国の文化や考え方を知りたいから

Q26. あなたは、「研究」をどんなものとして認識していますか。特にない方は「特になし」と記入してください。



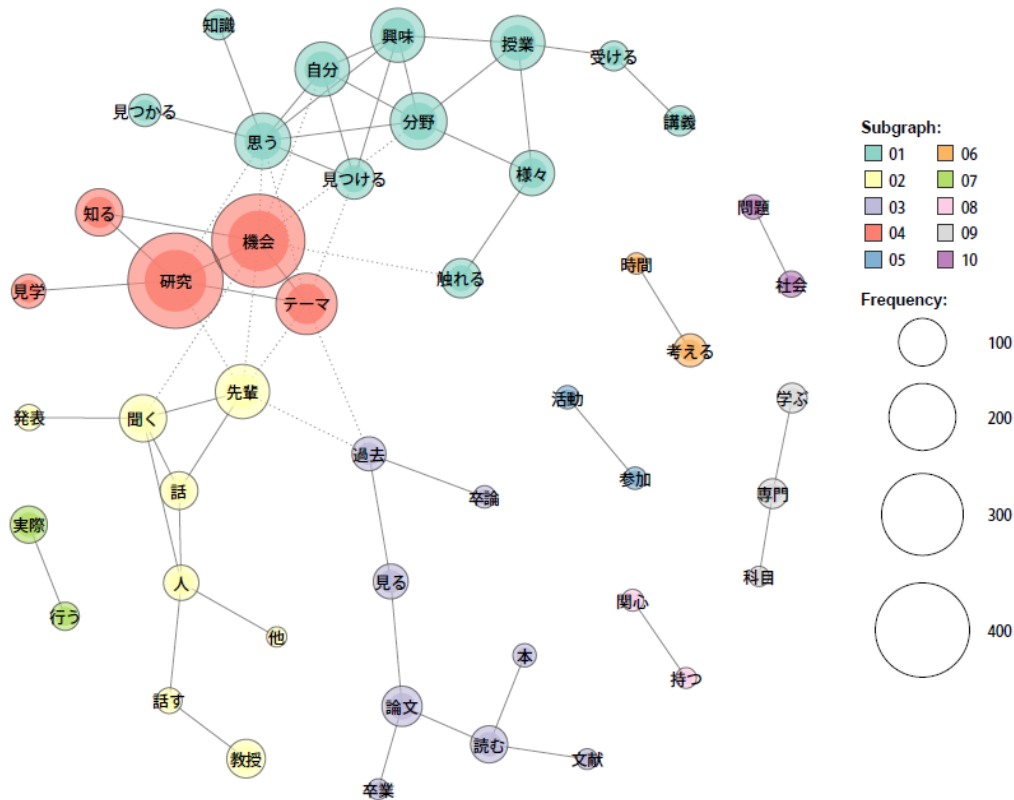
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
自分の興味関心	自分・興味・分野・深い	自分の興味がある領域を学んだ集大成 興味がある分野について探求すること。 またそれが社会にどのように還元できるか考えること。
社会をよりよくしていくもの	社会・問題・解決・疑問	自分の興味関心と、 社会で問題視されていることを掛け合わせて物事を調べ考えること
新たな知識や発見	新しい・発見・生み出す・知見	これまで学んだ知識を基に、 自身が考察した新しい知見を社会へ発信できる機会。 先人の知識を用いて自身の知見を広める、 そしてそれをさらに発展させて学問に貢献するもの。
大学での学び	大学・学び・深める	大学でしか行うことができない、 専門分野に対して学びを深めることができる貴重な経験 学部で学ぶときよりもさらに専門分野を突き詰め、 高度な学びに主体的に取り組むこと。
具体的な研究方法	実験・仮説・考察	原典(一次資料?)をもとに自分なりに問いや考察を立てて。 実験・検証していくもの。 あるひとつの分野・事柄などについて、 自身の学習や実験、文献などから仮説を立て、 様々なものに触れながら深く思考すること。
自分なりの答え	自ら・問い・答え	自らの疑問に対し、客観的な事実に基づいて答えを導き出す行い。 興味のあるテーマについて自らの知識と多数の文献を総合させて、 テーマに属する分野に関して自分なりの成果を残す活動。
専門知識の習得や深掘り	知識・専門・身	興味のある分野について深掘して、 自分の知識や考えを深めるためのもの その専門分野などで、今までに蓄積されてきた知識をもとに、 新たな仮説を立てて変遷や発展の様子を考えていく過程のこと。
必修	卒業・必要	卒業するためには必ず必要なもの。 誰もが一度は通らなくてはならない難しい道。

Q28. なぜ、自分の研究・探究したい学問やテーマ、卒業研究、卒業論文、卒業制作等が見つかりませんでしたか。



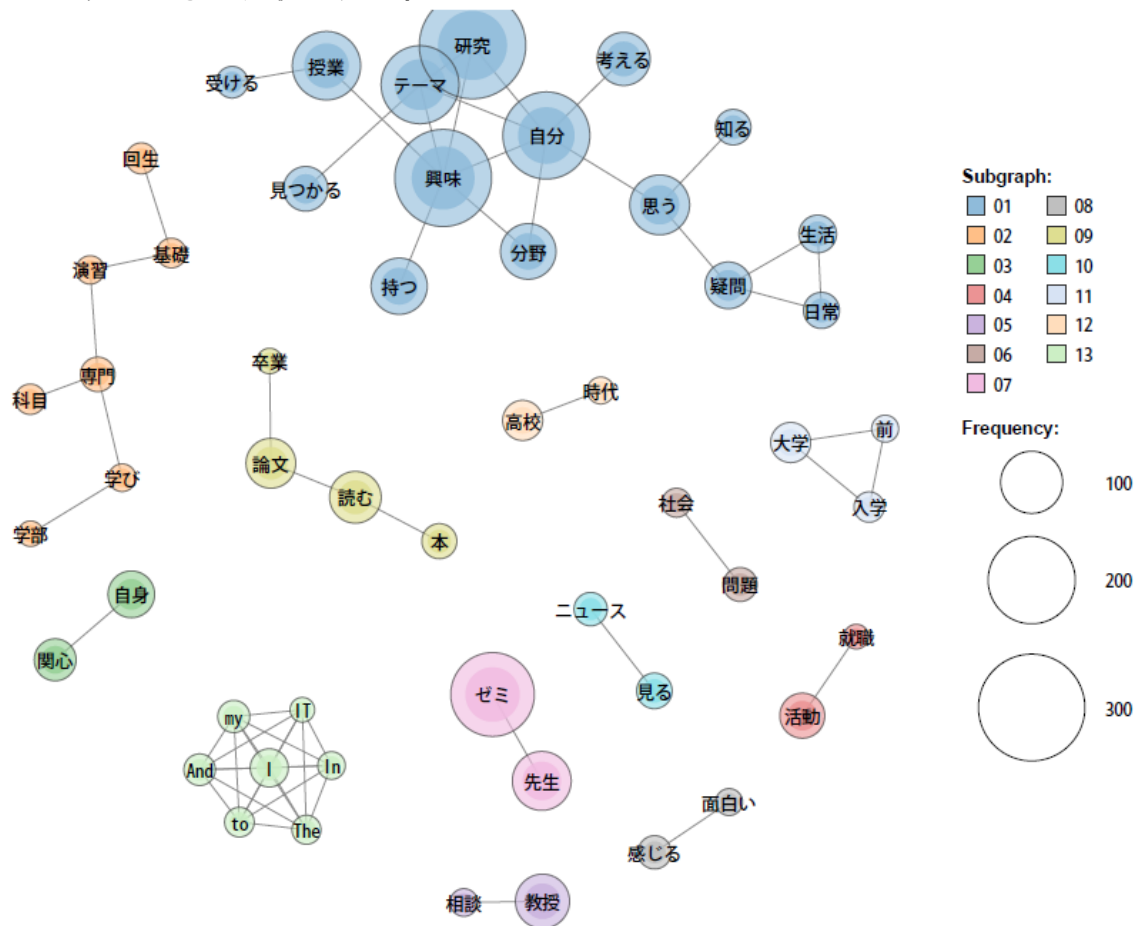
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
研究分野が広大	自分・興味・分野・研究など	興味のある分野が多く、まだ絞ることができていないから。
自身の興味と社会とのつながりが不明瞭		模索しているが堅苦しいものになってしまっていて、もっと自分の興味のある面白そうな社会的意義のあるものを研究したい。
知識不足		自分の将来に繋がっているのか分からない。将来のための研究が何か見つけられていない。
知識不足	専門・知識・足りる・少ない	自分の知識が少なく、問題意識を感じる部分が少ないため基礎知識や理解が足りないと自覚しているから。
研究分野が広大	深い・学ぶ・一つ	まだ一つのことを深く学んでいないから
大学入学	入学・大学・入る・先行	まだ大学に入ってやりたいことを見つけれないから
見通しが立たない	将来・明確	自分がどういった分野に関心があるのか、明確に理解出来ていないから。
		自分の将来に繋がっているのか分からない。将来のための研究が何か見つけられていない。
研究テーマが見つかっていない	見つける・検討	まだあまり検討してなく、自分に合ったテーマが見つけれないから。
興味のある分野の取捨選択	合う・持てる	興味があるものは多いが、どれも研究に繋げられるかどうか確信が持てないから。
		まだ専門知識が自信を持てるほど身につけていないのと、興味のある分野がいくつかあり絞るまでに至ってないから。
学問の理解が及んでいない	理解・学問	まだどのような学問・テーマがあるか把握したものが少なすぎて、納得のいくものがない。
		研究したい学問やテーマが複数あり、多岐にわたっているため。

Q29. どんな機会が与えられれば、研究テーマが見つかると思いますか。また、見つけやすくなると思いますか。特になしの方は「特になし」と記入してください。



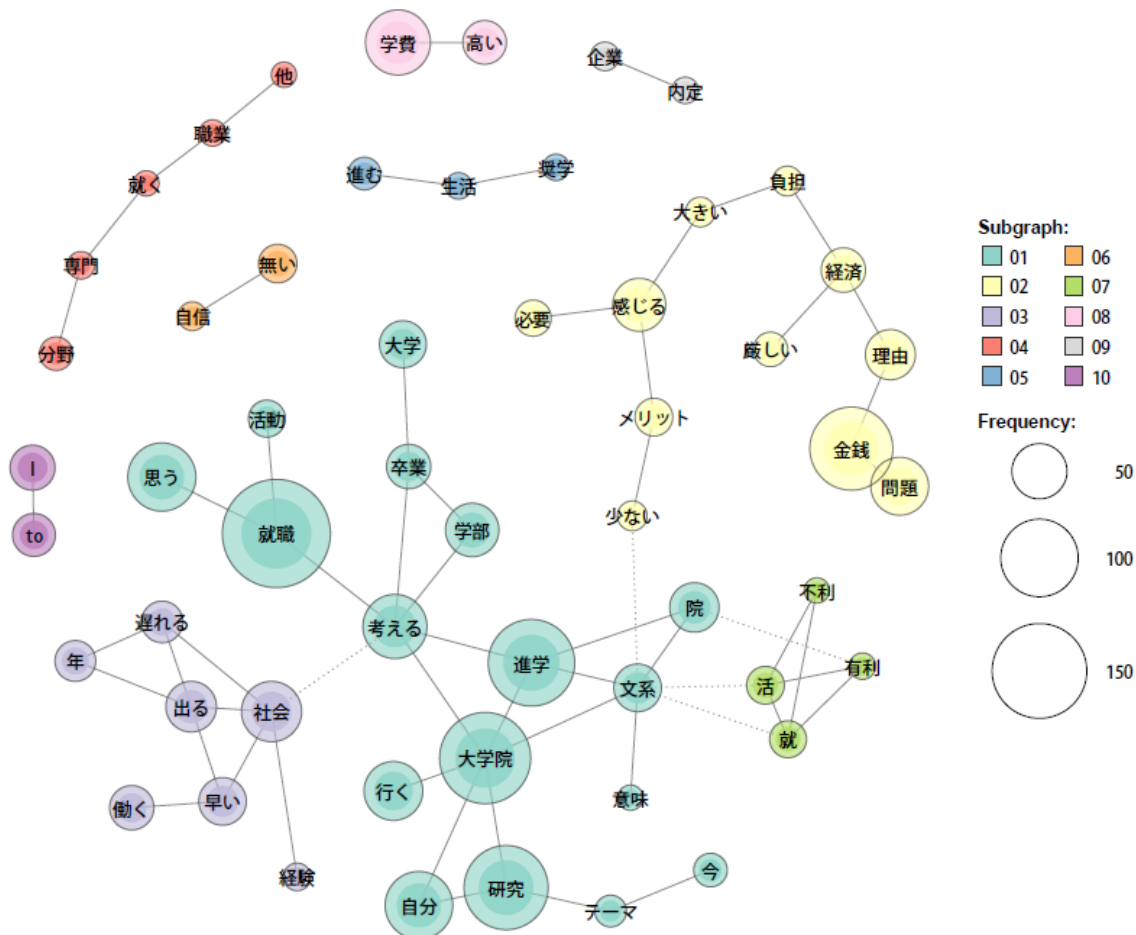
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
自らの興味関心	興味・自分・分野・授業・思う	自分が興味ある分野について調べて発表する場があると、見つけやすくなるのではないかと思う
他者からの力添え	先輩・聞く・話・人	ゼミの先輩からお話を聞く機会 同じような悩みを持っていた先輩から話を聞いてどのように見つけていったかを聞ける機会。
資料調査	過去・見る・論文・読む	図書館などで研究テーマの論文などが掲載される期間があれば、気軽に見れる機会が増えるのではないかと考える 検討しているテーマに関連する卒業生の論文や、その他先行研究に触れる機会。
先行研究に触れる	機会・研究・テーマ	参考になる諸先輩方の研究内容を見る機会 実際に卒業研究を行っている先輩から、どうしてそのテーマにしたのか、どのようなことを研究しているのかについて聞く機会
学内・学外での活動	活動・参加	自分でさまざまな活動に足を突っ込むことでテーマが見つかると思う。 ボランティアなどの学外活動や、もとからの興味を深まるイベントへの参加など。また有識者の話を聞く機会があれば嬉しい。
内容に向き合う	時間・考える	より、授業内容に関心を持ち、具体的に考えること
現実と研究のリンク	実際・行う	フィールドワークに行って現場の実際を知り、課題を見つける。 低回生の時に実際に先生の研究室に行く機会が設けられていればイメージしやすいと思う
関心へのアンテナ	関心・持つ	学校での学びと関心分野について体験的な経験をすることだと思う。それによって、その問いに関して当事者意識を持つことにつながると感じる。 実体験をもとに関心を持ったり疑問が生まれるような機会。
専門内容の追求	学ぶ・専門・科目	もっと専門的なことを学んでいく機会が増えれば、自分の興味のあるテーマが見つかると思う。 自分の興味のあるテーマの専門家と会話する機会があれば、更に興味が深まりテーマを見つけられると考える。
現実と研究のリンク	問題・社会	社会問題を把握する機会がほしい 様々な会社への企業見学を通して、意識的に社会を知る機会を与えてもらう

Q30. 研究テーマが見つかったきっかけを教えてください。



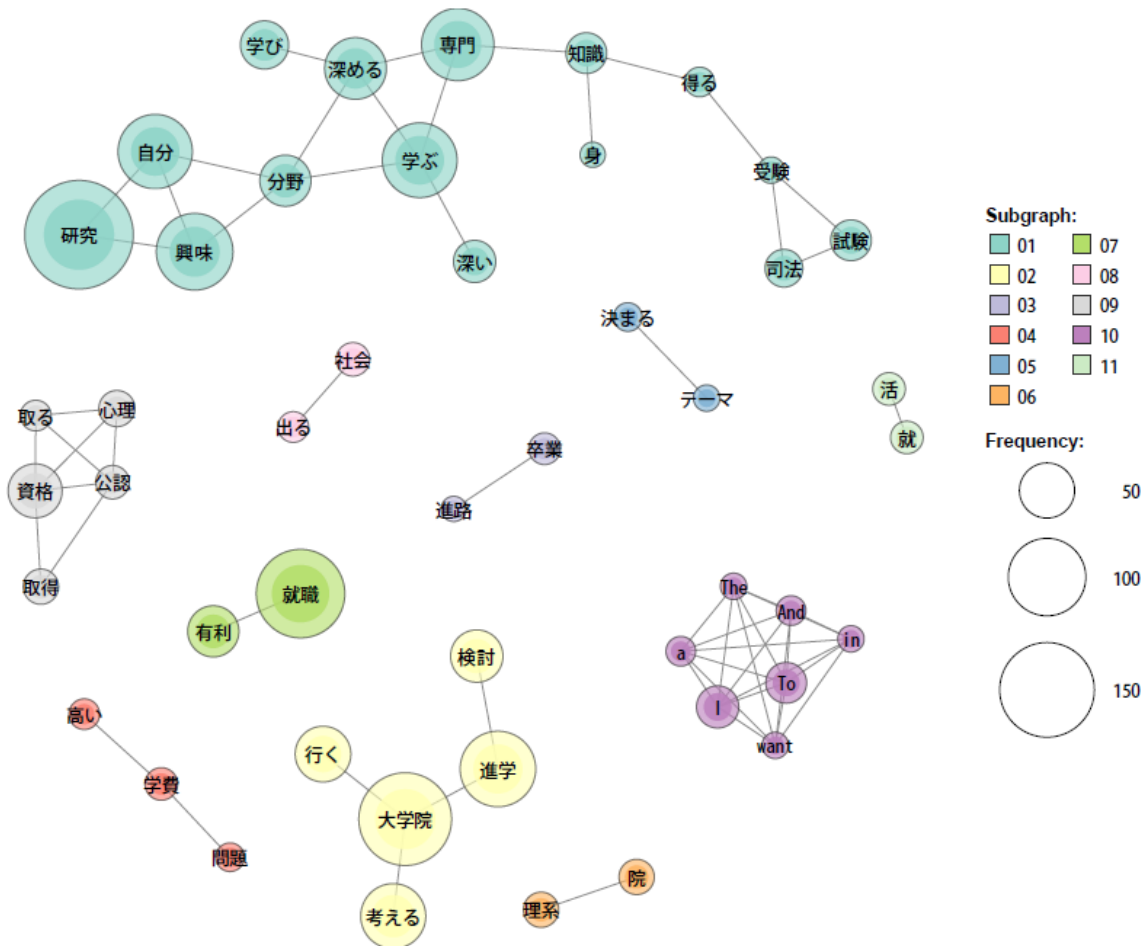
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
興味の掘り下げ	研究・テーマ・興味・自分・分野	専門演習の授業を通して、自分が何に興味があるのかを掘り下げて考えたこと
専門科目での学び	専門・学び・演習	専門科目の内容からある内容に興味を湧き もっと極めたいと思った
自身の興味関心	自身・関心	就職活動と自身の興味、研究ゼミでの学びの組み合わせ
		自身の日常生活から、こんなものがあれば便利だと思ったこと、 先行研究も存在し、方針も立てられそうだった。
課外・就職活動	就職・活動	今後のキャリアに活かせる内容だと、就職活動を通して気付いたため。
先生との会話	教授・相談	自分のしたいことを面談で話し、教授からの提案と話し合いによって決まった。 社会情勢に目を向け、解決すべき問題があると考え、それをテーマとして選択した。
現実と研究のリンク	社会・問題	日頃からニュースなどを通して関心を抱いており、関連する論文を複数呼んだことで 研究を進める上での社会的意義があると感じたから。
先生との会話	ゼミ・先生	先輩方の研究について教えていただき、先生や先輩方に相談に乗っていただいたり、 関連する内容を調べる中で見つかりました。
		自分の興味のある分野について、真剣に研究している先生と出会ったこと。 その先生の授業を受け、またその先生との面談を通して自分の研究テーマが見つかった。
自身の興味関心	面白い・感じる	これまでの学習歴を元に物語と社会の関係の相互性を探る面白さを実感し、 自身も好きな現代の作品に対しても、 その手法や視点から応用して分析や研究してみたいと感じた。
資料研究	論文・読むなど	気になる用語をciniiで検索し、手に取った本が面白かった。
		基礎購読の授業内で沢山の論文をよんだことがきっかけ 大学でこれまで履修した講義から、自身の興味のある分野を考えたため、 また先輩達の卒業論文テーマも参考になった
現実と研究のリンク	ニュース・見る	自分の趣味のある分野に関連するようなニュースや記事からテーマを探した 日頃ニュースを見て、自分にどうしたら解決できるのか、と考えていた時。 自分自身のキャリアを発展させようと考えていた時。
入学前	大学・入学・前	明確にこれといったきっかけはないが、大学入学前から漠然と抱いていた問いを、 専門科目を履修する中で自覚するようになり、より言語化した形で表現できるようになった。
		入学当初のざっくりとした興味関心を念頭におきながら様々な授業を受講したり、 課外活動を体験した結果。
高校と大学の学びの結び付け	高校・時代	高校時代から好きなものがあり、大学に入って専門科目の勉強をしたことで、 好きなものを研究に繋げることができそうだった。

Q33. 大学院に進学しない理由を教えてください。



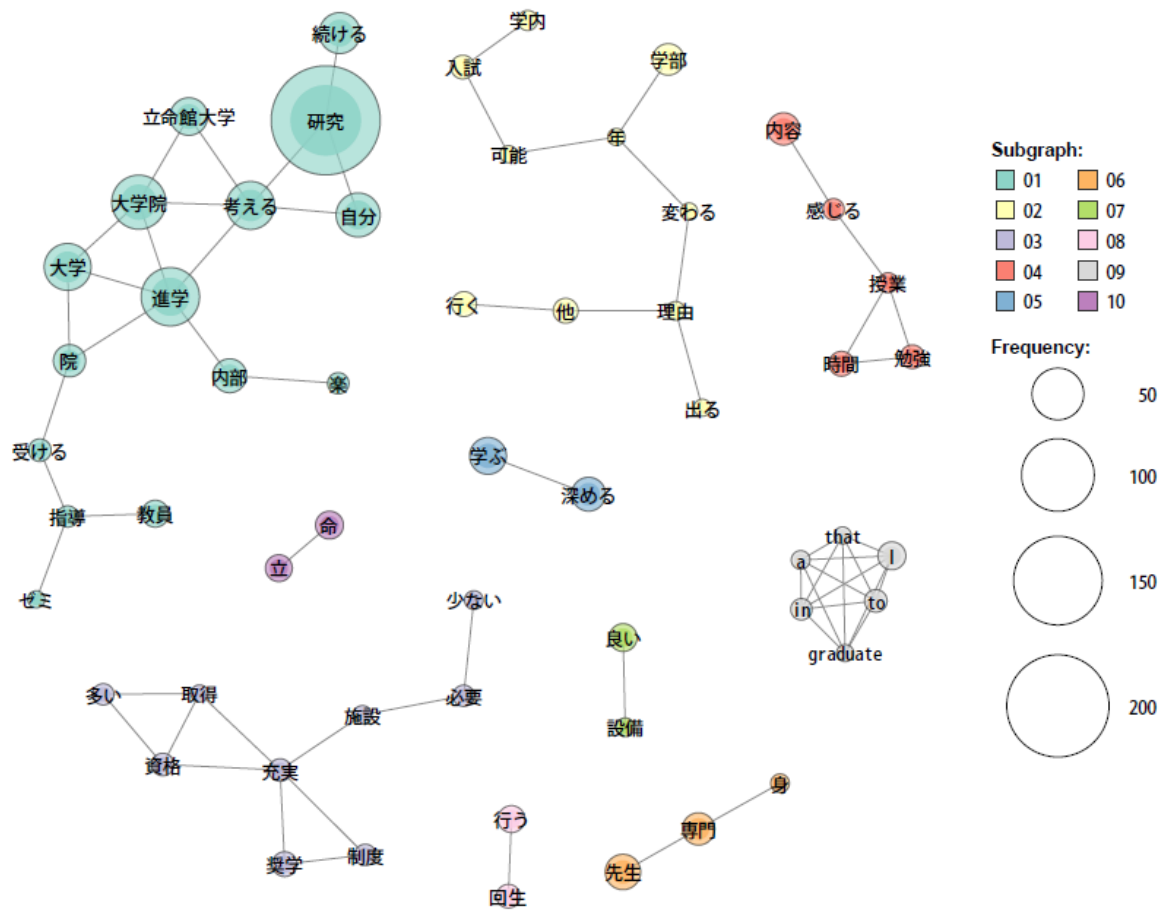
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
金銭的理由	金銭・問題・メリット・感じるなど	金銭面での負担が大きいため、自分の行きたいからという気持ちだけで安易に考えてはいけなかったため
金銭的理由	学費・高い	学費がかかる上に、将来役立つかどうか分からないから学費を支払えるほどの経済力を持ち合わせていないため。
金銭的理由による生活面への影響	生活・奨学・進む	学費、家賃等の生活費がさらに2年かかるため、金銭的に厳しかった。 さらに多くの奨学金を借りて大学院に進むことになると、将来の生活に不安があったから。
就活への優位性の有無	就活・有利・不利	文系では院進が就職活動に有利に働くことがない。教員や研究者になる以外道がないから。
就職先の決定	企業・内定	働きたい企業が決まっているから。 そこで院進学がそこまで役に立つと考えていないから。 自分が良いと思う企業に内々定を頂いた為。 学部卒でも学歴として十分だと感じる為。
専門職以外での就職希望	専門・分野・職業など	専門職に就きたい訳ではないため 研究員になる予定もなく、将来就きたい職業は大学院卒の資格を要しなかったから
社会経験をはやくつみたい	社会・出る・早い・遅れるなど	就職してから得られる経験を重視したため 就職活動を進めるなかで学部で卒業して、はやく社会経験を積みたいと考えようになったから。
研究への興味の有無(ない)	大学院・研究・就職・進学など	大学院に行くほどの研究テーマが見つかっておらず、自分のやりたいものは院に行かずとも学部卒で可能だったから。 大学院に進学してまで学びたい内容が見つかっていないから。
研究への自信の有無(ない)	自信・無い	それほど研究に没頭できる自信が無いから。 大学院で研究を続けたいと思えるほどの熱意があるかについて、自信をあまり持つことができない。

Q34. 大学院進学を検討している理由を教えてください。



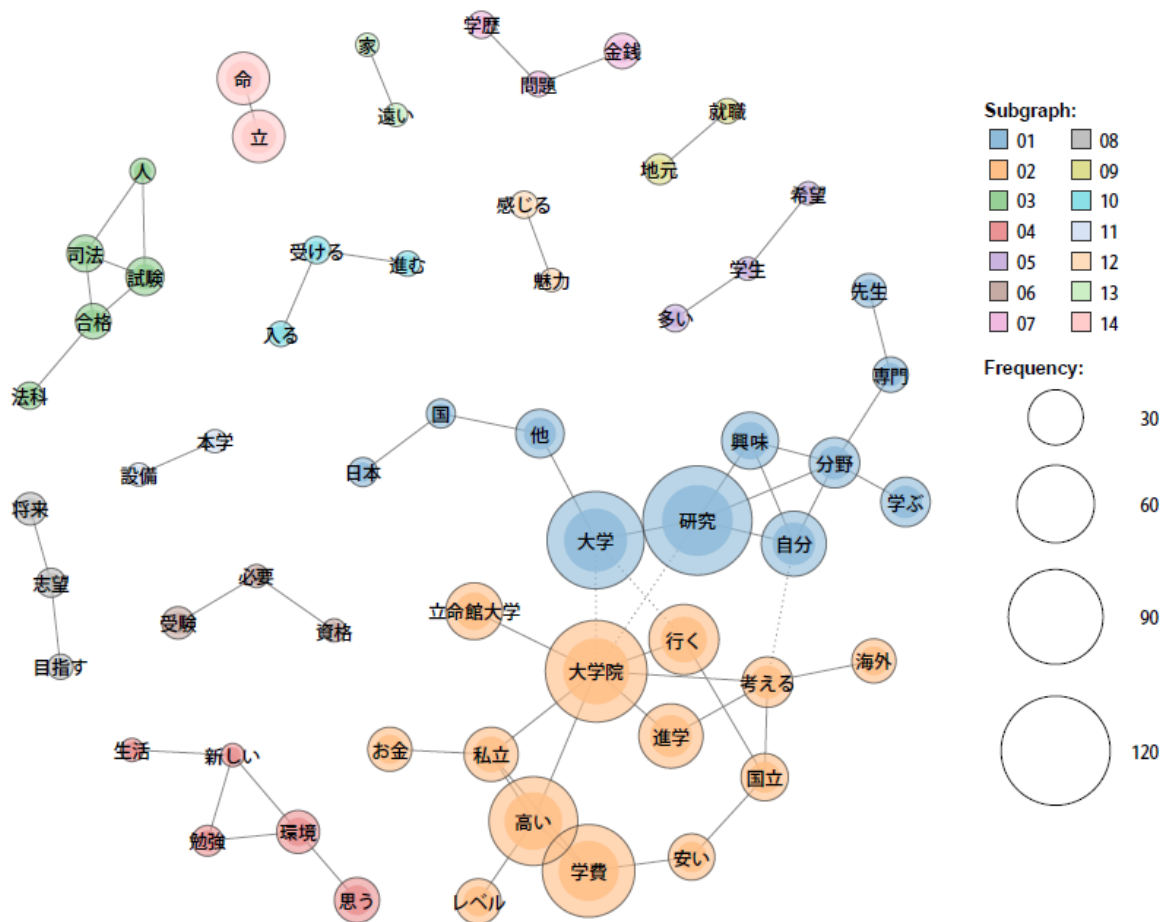
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
研究テーマが未定	テーマ・決まる	自分の将来がまだ決まっておらず、 研究したいテーマができれば進学したくなるかもしれないから。 突き詰めたいテーマが詳細まで決まっていない 大学院卒業後のキャリアについてまだ知識不足であるから。
進路に対する不安	卒業・進路	大学のゼミナールがとても面白く感じていて、こう言った活動を続けたいと思っている。 しかし、授業料や卒業後の進路が必ずしもつながるわけではないため検討している。
社会に出ることの遅れ	社会・出る	大学院での学びよりも、 社会に出るのが2年遅れるというデメリットの方が大きく感じてしまう。 より専門的な知識が得られるので社会の役に立つことが出来ると思うから。
社会への貢献		
就活との兼ね合い	就活	就活しながら大学院の受験は大変だから。
金銭面での不安	学費・問題	立命館大学の大学院に行くとなると2年間の追加の学費が高い。
就職での活用	就職・有利	専門分野の力をつけて就活で有利になりたい。
資格取得	資格・取得など	取りたい資格があるから さらに2年追加で学習することで、資格を得ることができ、 自分の道が広がるのではないかと思うから。
理系	理系・院	理系は院まで進学するのが一般的と言われていたから。 理系は大学院進学する割合が高く、院卒のほうが就職に有利だと感じたため。
求められる研究レベルの上昇	研究・自分・専門・深めるなど	さらに専門的な勉強をしたいが、やはり研究が大変だと思う。
自信の問題	大学院・進学・検討など	自分が大学院に行ってしっかりやっていけるかという不安がある。

Q35. なぜ立命館大学の大学院に進学しようと思ったのか具体的に教えてください。



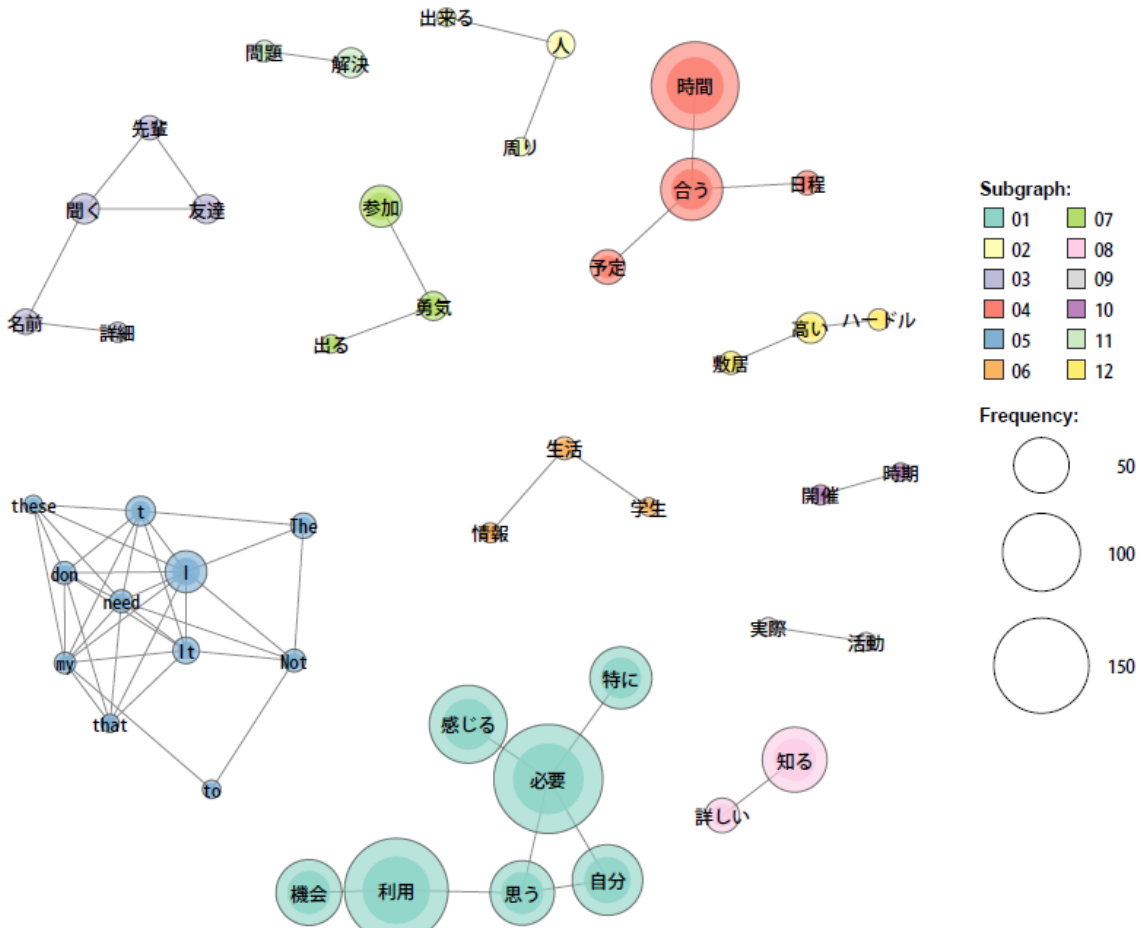
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
研究の継続	学ぶ・深める	4回生で学んだ研究をやり深めたいから 学びたい内容が立命館大学院にあったから
研究の継続	回生・行う	4回生で行っている研究をそのまま引き継いで研究できるから。 自分の興味があることを探究するには、1年では足りないと考えたから。 その上で、学部4回生から大学院2回生までの3年間、同じ研究室で研究を続けることができる継続性を求めたから。
求める先生の有無(いる)	先生・専門・身	大学院に自分の興味のあることを専門とされている先生がいらっしゃるため。 また、国家試験受験資格を獲得するため。 進学のためには見つけた先生のもとですり合わせながら 研究を進める必要があると思ったから。
充実したサポート・制度	充実・奨学・制度・施設など	立命館の規模や施設、カリキュラムが充実しているから。 他校と比較したときに施設や教員の充実度があり、他に出る必要がない 奨学金制度、学習環境など含め支援の手厚さ
設備の良さ	設備・良い	立命館の研究室の設備が良いから
他大に進学する理由の有無(ない)	理由・変わる・入試など	教員も環境も変わる他大学の院に進学する理由がない。
院進の受験勉強がいらぬ	時間・勉強など	学内進学を利用することで大学院入試の勉強にあてる時間を 研究活動にあてることができるから。
学部(現在)の環境への満足	研究・続ける・進学・自分など	学部時と同じ研究室で研究ができるから。

Q36. なぜ他大学の大学院に進学しようと考えたのか具体的に教えてください。



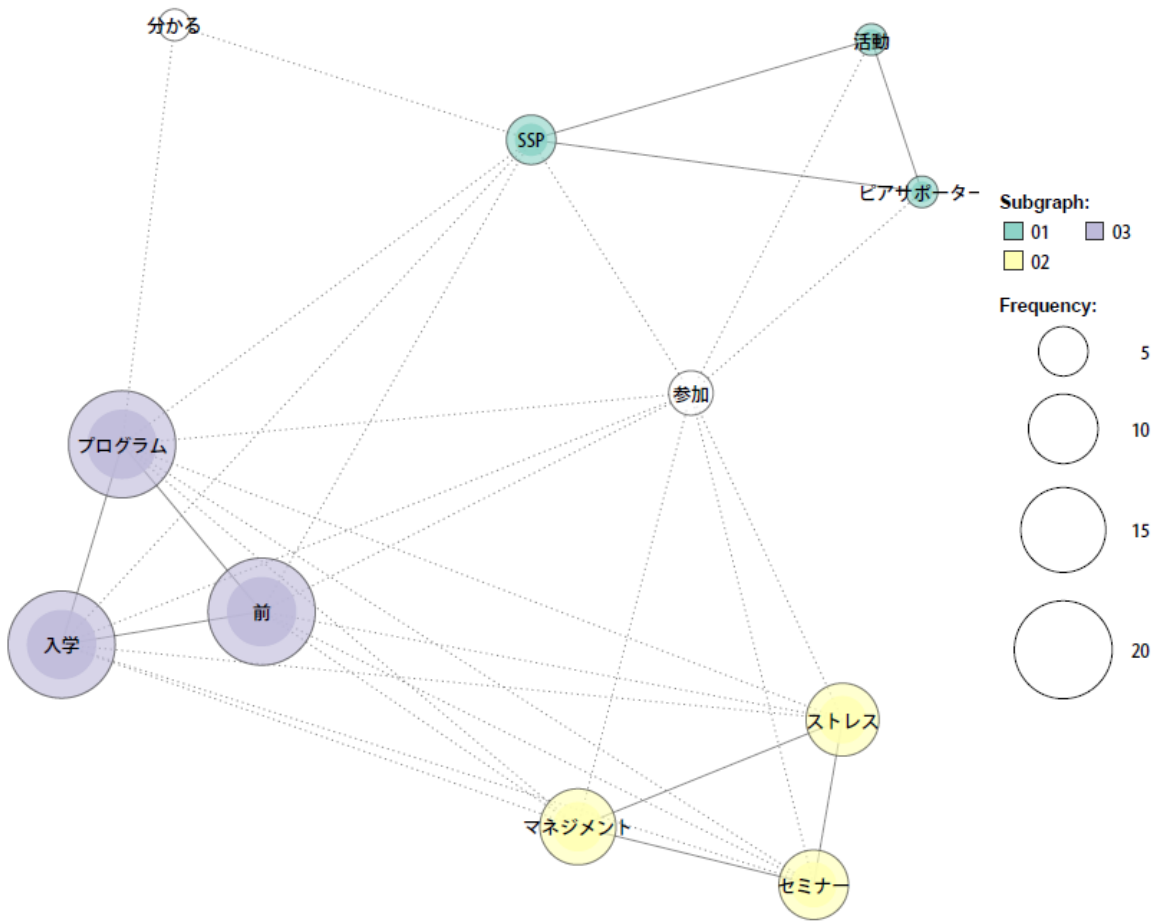
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
通学面	家・遠い	立命館は家から遠いから。
地元にもどる		地元で就職したいから。 より自分の興味のある分野への進学を考えているため、
将来のキャリアと進学先	地元・就職	将来就職への道考えた時に海外への進学を視野に入れなければ厳しいという現実をみたため 国に帰る場合、国公立大学の方が就職に有利だから 当該大学院に自分の求める魅力があったからです。
他大学の魅力	魅力・感じる	他大学の研究内容に魅力を感じたから。
学生のレベルの高さ	多い・学生・希望	学域の大学院進学を希望している学生のレベルの低さに起因しているとしか言いようがない。
試験の合格率	司法・試験・合格など	他大学の法科大学院の方が司法試験の合格率が高いため
大学設備	大学・設備	外部の大学院の中には本学の大学院よりも設備が整っている場所があるから。
研究のレベル	研究・興味・大学・自分など	よりレベルの高い所で研究したいから
研究テーマの合致		国立の大学院でより大きな規模の研究をしてみたいから 自身の研究テーマに他大学の方が適しているから。
環境を変えたい	新しい・環境・生活・勉強など	新しい環境で勉強したいから。 海外で全て英語の環境に飛び込みたいから
学歴ロンダ	将来・志望・目指す	大学入試の時の第一志望に行きたいから。
学歴ロンダ	受ける・進む	もともとはその大学の大学院に入ることを目標に大学入試を受けた結果、 落ちたので立命館にきたから。
学歴ロンダ	受験・必要など	大学受験に失敗したから。
金銭的理由	問題・金銭など	立命館大学の大学院に通うことが金銭的に現実的ではないから。 生活費が高く自分でバイトをしなければならず、研究との両立が難しいと考えた
金銭的理由	学費・高い・私立・国立など	学費が高い 学費が安い国立の大学院に進学したいと考えている。

Q39. (前問に関して、「知っているが利用したことがない」と回答した方について、)なぜ利用していませんか。



- 時間があわない
- 敷居が高い・参加するのに勇気がいる
- よく知らない・なにをしているのかわからないため
- 機会や必要、興味がない
- I think my time didn't match
- i was not informed about these resources
- I don't need those support

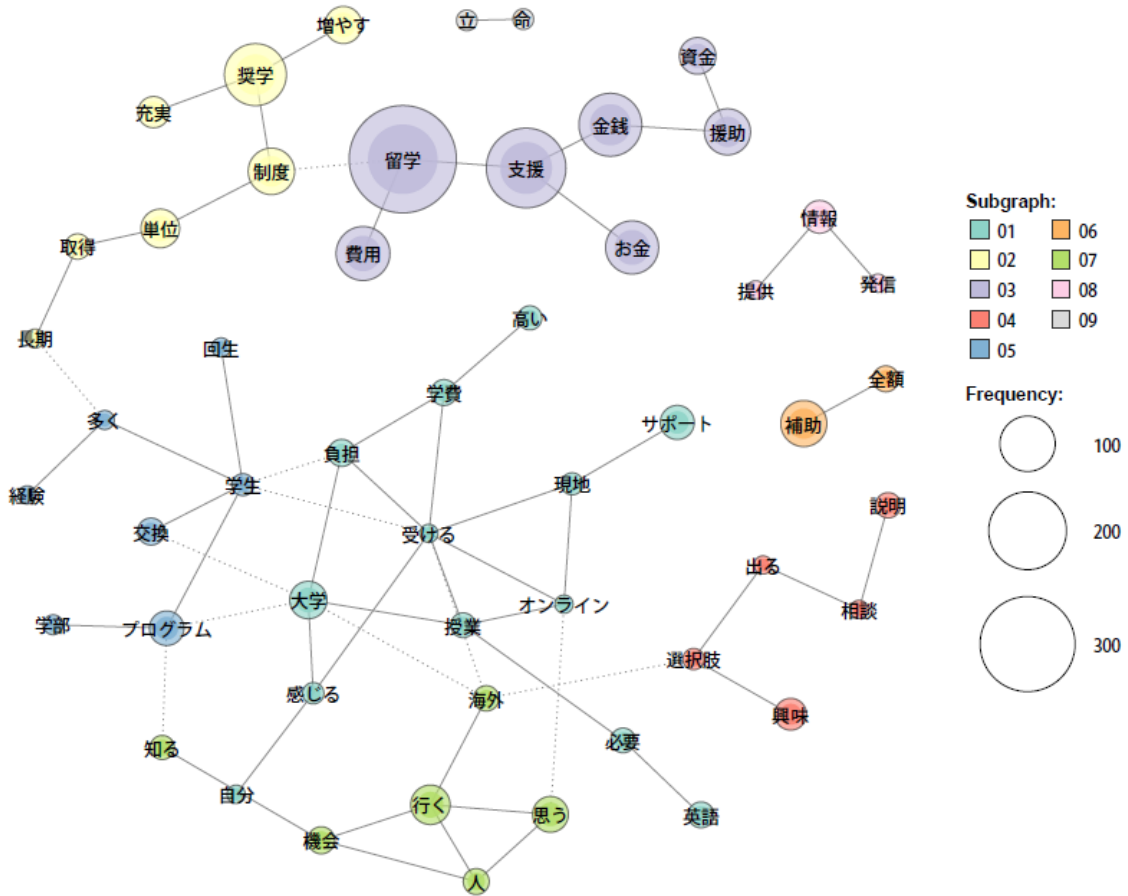
Q40. Q38の他に、SSPにて利用した支援はありますか。(入学前プログラム・ストレスマネジメントセンター等)



- 入学前プログラム
- ストレスマネジメントセミナー
- ピアサポーターとして活動

留学 | 留学について

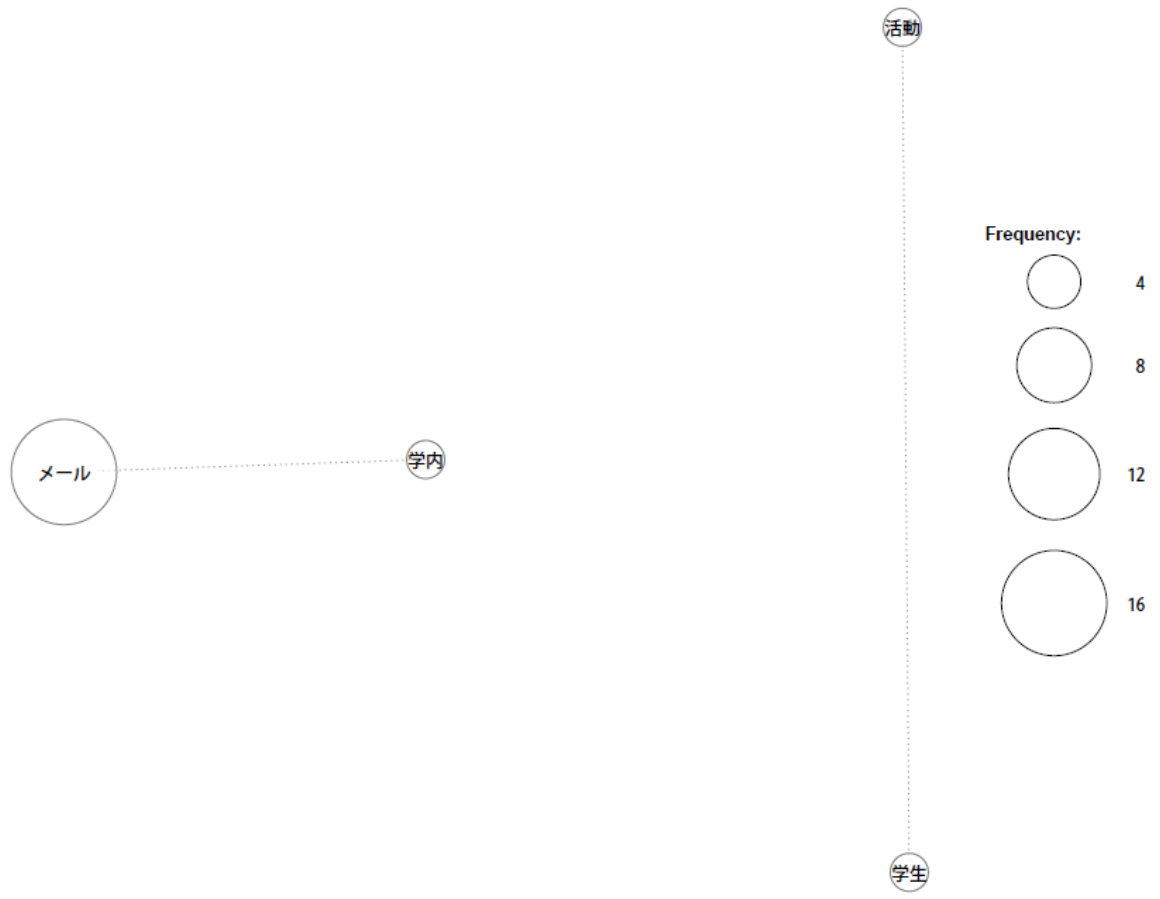
Q42. 留学に関して大学に求める支援や、その他何かあれば教えてください。



金銭的援助・奨学金の増額
留学案内・奨学金等の情報発信の強化
現地サポートの強化
中期留学や英語圏以外などプログラムの増加
Financial support
making connections between senpai and kouhai (a person who went to that country or univ & who are planning to go there)
その国に進学した人とかの先輩や後輩とのこねくしょんづくり
I would like more assistance from the university regarding foreign students.
受け入れについてもっとサポートが欲しい

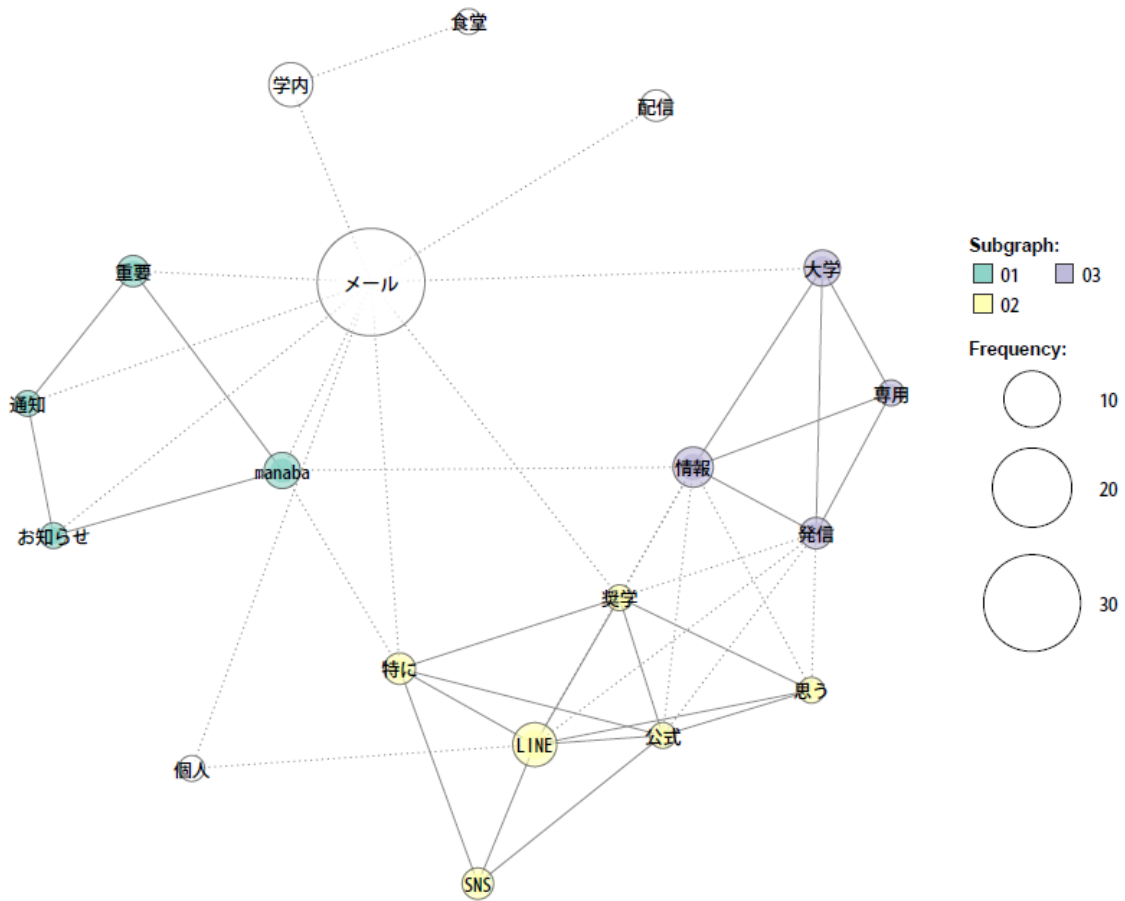
情報発信 | 情報発信について

Q45. 大学の施策の情報について、どこから情報を得ていますか。
 (その他の自由記述)



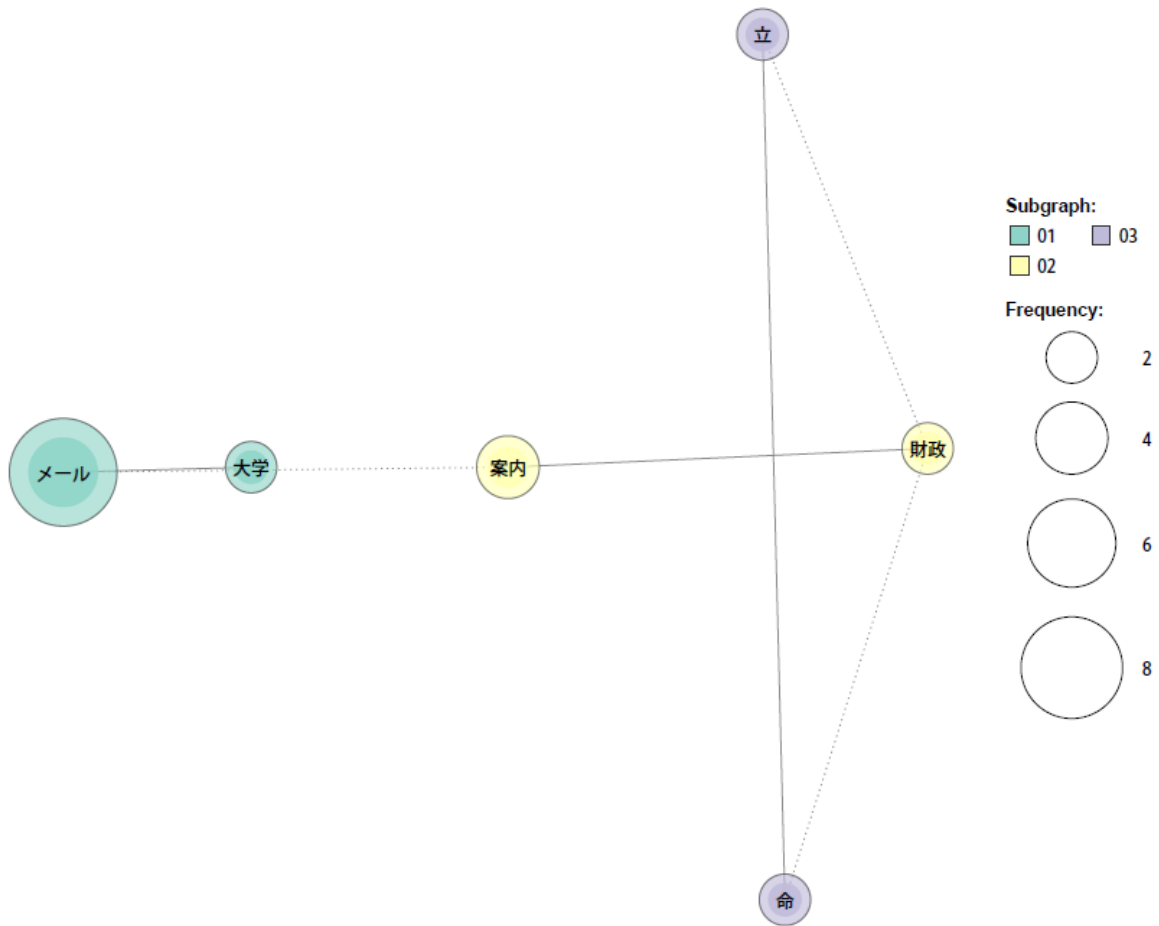
メール	15
ライン	2
学生大会	1
学部事務室	1
兄弟	1

Q46. 大学の各種情報発信について、どのような形の情報発信が望ましいですか。



メール	45
公式ライン	3
食堂での放送	1
自治会経由	1

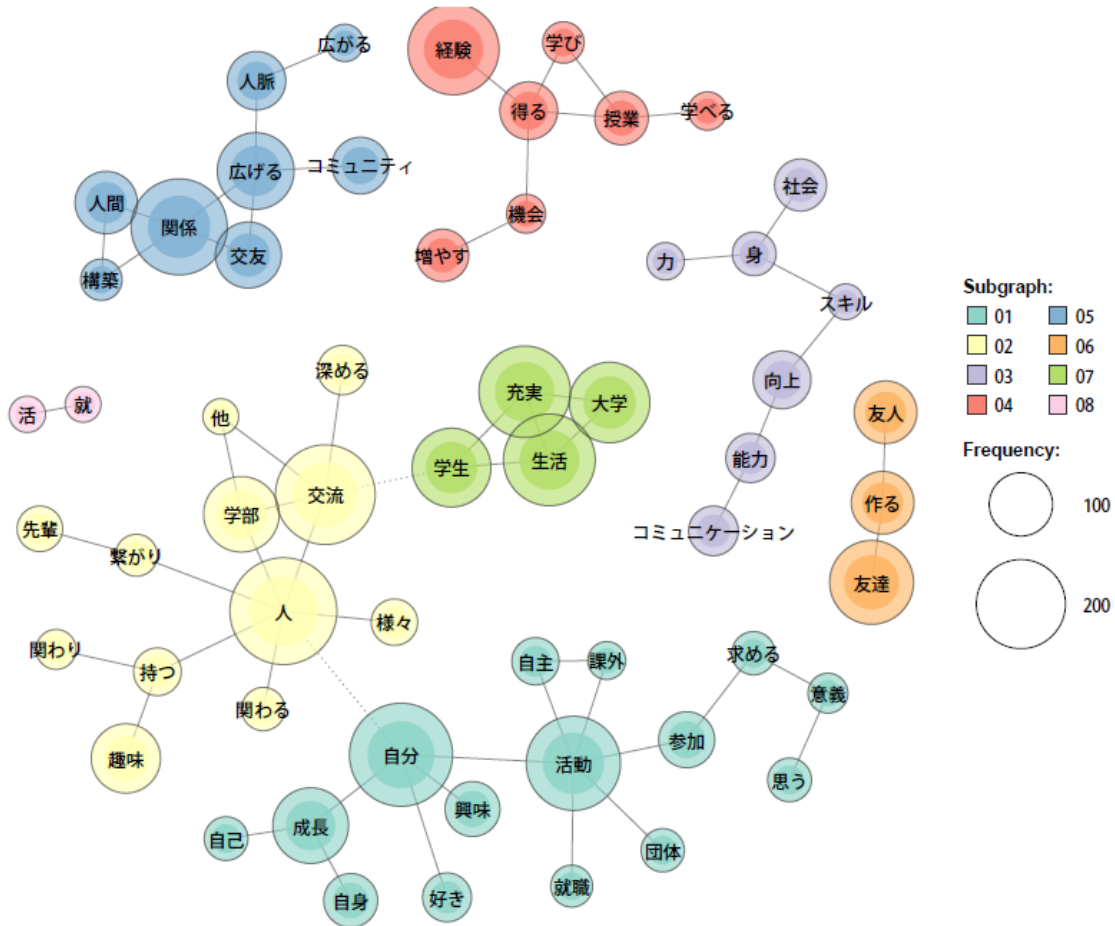
Q48. 財政に関する報告書について、どんな広報媒体での案内があれば目に留まると考えますか。



メール	12
パネル展示	1
自治会経由	1
書類郵送	1

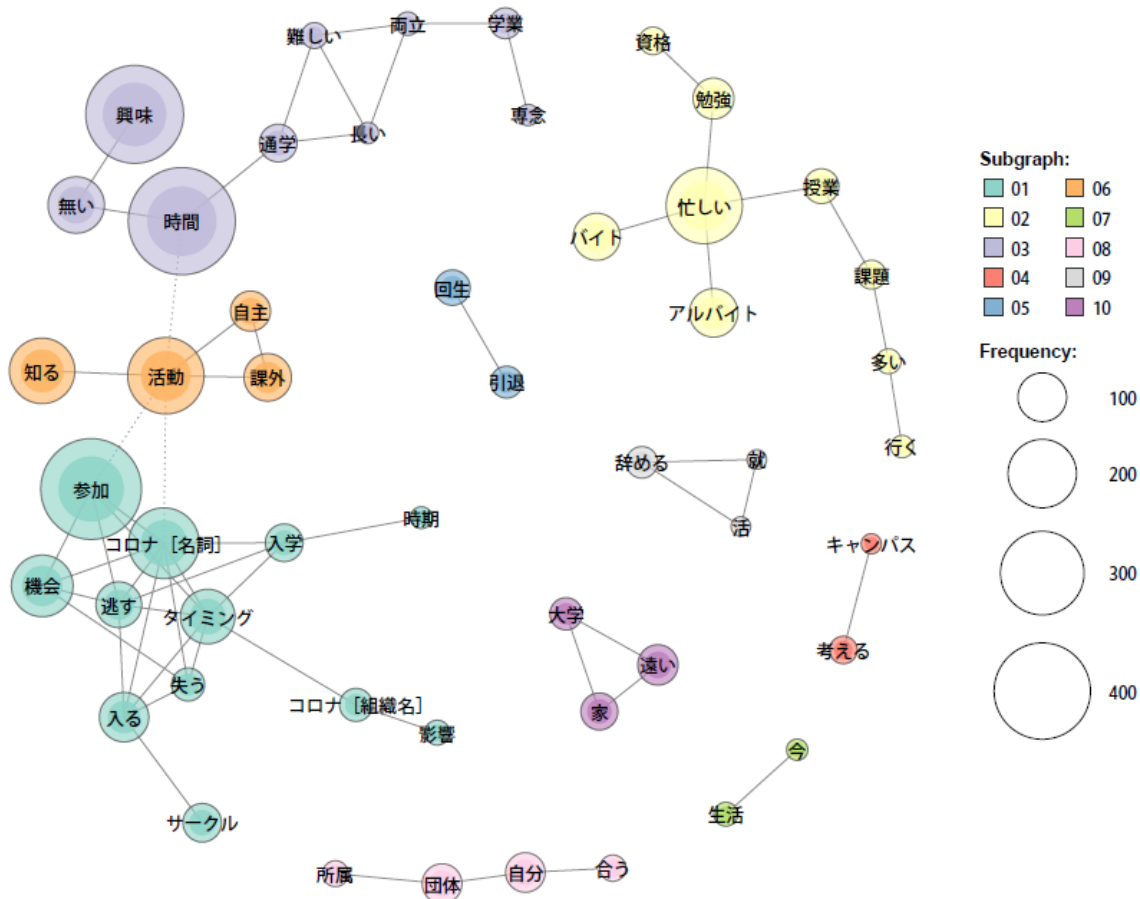
課外活動 | 課外活動について

Q50. 課外自主活動に参加している意義や課外自主活動に求めていることを教えてください。



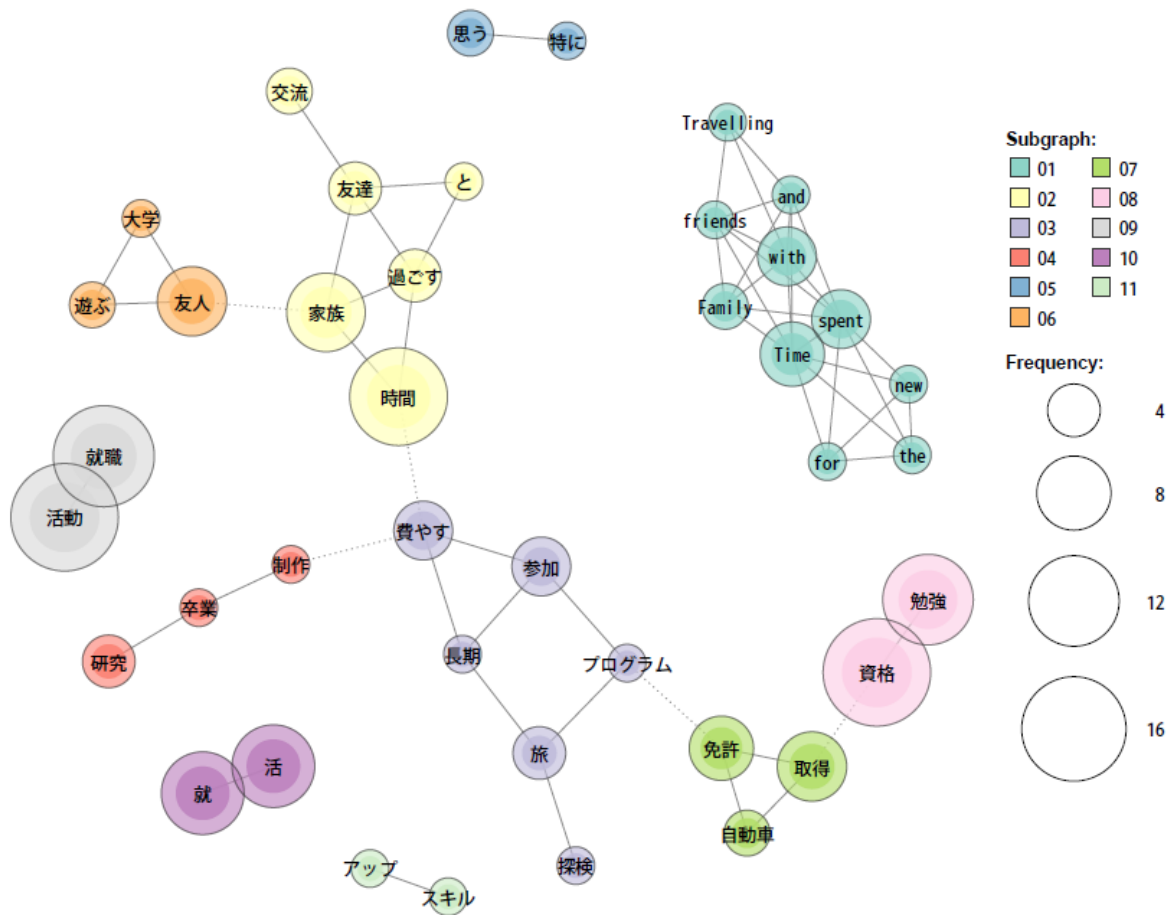
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
正課では得られない人脈の形成	友人・友達・作る	授業関連以外での友達を作ること 異なる学年の人とのつながり 関心のある分野での交流を求める。 学内に居場所を作る。
上下のつながりや交流の機会		先輩後輩とのコミュニケーションが活発に行える 交友関係を拡大し、コミュニケーション力を高めるため。
社会課題の解決や社会人になってから活かされる	社会・コミュニケーション・スキルなど	自分の学業以外の学びを社会や学内で活かすため 社会課題を直接知り、社会経験を積むこと。 大学に通うことだけでは体験することができない経験をする。
授業では得られない課外活動ならではの経験	経験・得る・授業・増やすなど	経験を増やして自身を豊かにするため 授業外の学びや楽しさを経験できる機会。
交友関係の構築と共通目標の達成 人脈の拡大が学生生活の充実度と関係する	関係・コミュニティ・交流・広げるなど	友人関係の構築や、その友人たちと趣味や目標を共有して活動する楽しさ。 人脈が広がり大学生活を充実したものにする 学生のうちにしかできない経験をすることで、 大学生活をより充実したものにしたから。
大学生でしかできないという希少な経験が充実感と結びつく	大学・充実・学生・生活	
就活でのアピール材料としての課外活動	就・活	就活にて、ガクチカで話すことができる活動を成し遂げたかった。
共通の趣味を持つコミュニティへの所属や、学部間の横のつながり	学部・交流・先輩・趣味など	同じ趣味を持つ人に出会えたり、様々な学部の情報を得られたりすること。
自己成長の機会としての活動		他学部の方や他大学、地域の方との関わりを通じて自分を成長させてくれること
主体的な活動を通して能力を鍛える	自己・成長・興味・課外・活動など	自主的な活動を通して、自らの企画力や行動力を鍛える。 多様な人と交わることで考え方が洗練される。

Q51. 課外自主活動に参加していない理由を教えてください。



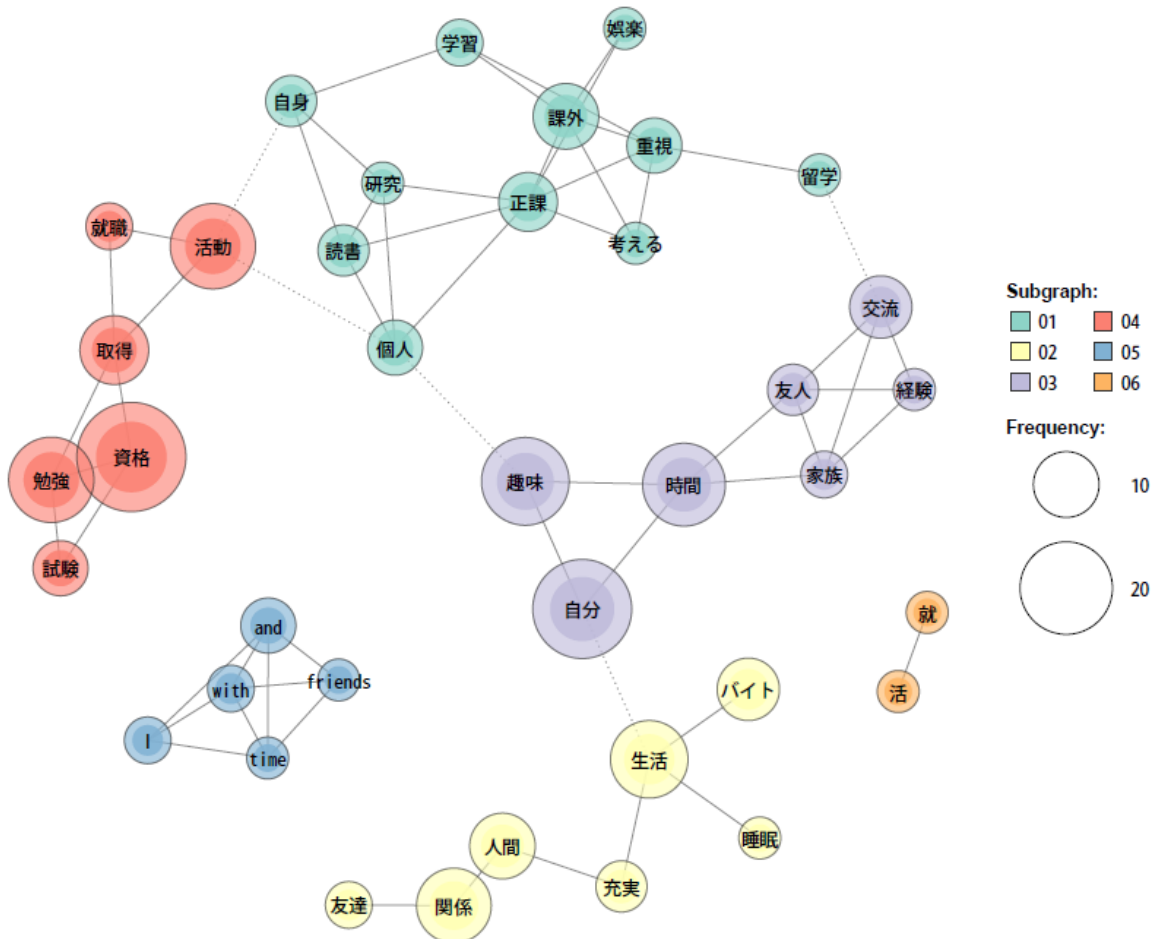
カテゴリ	抽出語	代表的な記述
正課などの影響で課外活動の時間が取れない	忙しい・バイト・勉強・資格など	バイトや勉強で忙しいから
課外活動の引退	回生・引退	4回生になったので引退した
就職活動との両立が難しい	就・活・辞める	就活が忙しくなり辞めた
他キャンパスでの活動によって、時間的及び金銭的な壁	キャンパス・考える	他キャンパスで行われるため時間とお金がかかるため
課外活動以外の生活状況の安定	今・生活	まずは学校生活に慣れたいため
通学時間の影響で帰宅時間が遅くなる	大学・家・遠い	キャンパスが家が遠く、 課外自主活動に参加すれば自分の自由時間が減ると考えているから
興味のある団体を見つけることができなかった	所属・団体・自分・合う	参加したいと思える団体が見つからなかった
正課の優先	興味・学業・専念・両立など	学業との折り合いがうまくいかなかったため。
課外活動団体の情報に触れられなかった	知る・活動・課外・自主	課外自主活動を知る機会がないから
新型コロナウイルス感染症拡大による機会の喪失	コロナ・参加・機会・失うなど	コロナ禍で参加する機会を逃した コロナで参加する気がなく、 コロナ明けからは今更参加してもという気持ちになり参加していない

Q62. 長期休暇期間（夏休み等）が約2週間ほど延びた場合、あなたは以下のどれに関して時間を配分しますか。



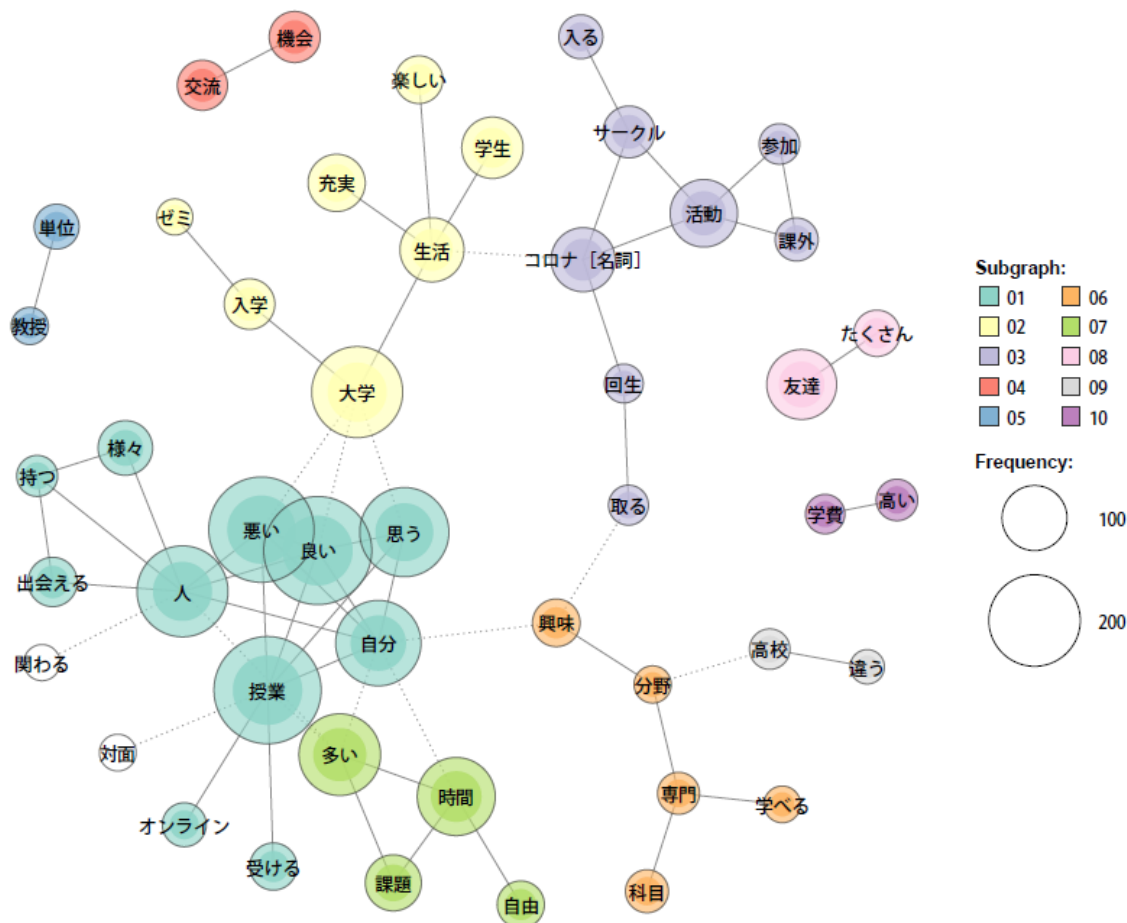
- 資格取得の勉強のために時間を費やす（自動車免許を含む）
- 就職活動に時間を費やす
- 家族や友人と過ごす時間に費やす
- 研究活動に時間を費やす
- 長期プログラム、ボランティア、旅などまとまった時間が必要な活動に時間を費やす。
- Travelling
- Spending time with Family/friends
- Time spent to learn a new ability

Q65. 正課・課外以外に重視するものがあれば教えてください。



資格取得に向けての勉強
自分の趣味や好きなことに取り組むこと
アルバイト
基本的な生活の充実
人との交流や人間関係
就職活動
Hobbies and spending time with friends
social activities
self-growth (Learning abilities by myself, Part-time job etc...)

Q68.大学に入学してから今までの経験で、良かった点、悪かった点など自由に記述してください。



良かった点

交友関係の広がりや学問との出会いによって視野が広がった。(コロナ禍においては、友達が作りづらかったという逆の意見もあり)
 大学の設備や学生に対する支援が充実している。
 課外活動に参加することで大学生活の質を向上させることができた。
 自分の興味がある分野を専門的に学ぶことができたのが良かった。
 課外自主活動が充実していて良かった。(コロナ禍を経験した学生は逆の意見)
 留学生など様々な人と交流できたことが良かった。
 自由に生活を送れる点が良い。

悪かった点

コロナの影響により、想像していた学生生活を送れなかった。(対面での関わりが無い、友人が作りづらい等)
 主に授業中にマナーや態度の悪い学生が一定数いる。
 学費が高い、学費に見合った設備や授業がなされていない。
 抽選科目の落選割合が高い。
 教授によってやる気がないというケースがある。
 課題が多すぎるために睡眠時間や自分の時間の確保が難しい。
 オンライン授業で学びを実感しづらかった。
 対面授業が再開した今、オンライン授業の併用をしてほしい。
 休憩の時間が短い。
 Wi-Fiの環境が悪い。